

令和7年度 主要事業の概要



《 目 次 》

	6月補正 (肉付け)予算	当初 (骨格)予算
1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち	P8	P49
1. 子どもの権利を守り、多様な子どもの居場所や主体的な参加の機会を促進する		
2. 子育て中の親を支援する環境を充実させる		
3. 豊かな体験を育み、社会に開かれた教育を推進する		
2. 地域自治：人がつながり活躍する共助と共働のまち	—	P78
1. 郷づくりによる地域自治の推進を支援する		
2. 郷づくりの担い手育成と幅広い市民参加を促進する		
3. さまざまな個人や団体間の共働を推進する		
3. 健康：健康で生き生きと暮らせるまち	P12	P82
1. 日常の中での健康づくりの取り組みを推進する		
2. 生涯学習や活躍の機会を通じた生きがいを増進する		
3. すべての人の自己決定や意思尊重を大切にするしくみを育てる		
4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち	P14	P98
1. 災害に強いインフラ整備と地域防災力を強化する		
2. 暮らしやすさを実感できる生活基盤を整備する		
3. 社会資本の有効活用と改善の推進体制を整備する		
5. 環境保全：自然・歴史・景観などの資源が守られ生かされるまち	P30	P111
1. 受け継がれてきた自然を守り、育てる		
2. 福津の環境を受け継ぐ子孫のために、地球温暖化を緩和する		
3. 快適な生活環境をつくる		
4. 環境を守るための地域共働のしくみをつくる		
6. 地域産業：地域の産業が経済を支えるまち	P31	P115
1. 農水産業分野の収益性を向上させ、担い手を育てる		
2. 多様な産業が連携し、地産地消を促進する		
3. 起業・継業促進と事業所誘致で、働く場を増やす		
7. 観光振興：福津の魅力を生かした持続可能な観光のまち	P38	P116
1. 国内外の人が何度も訪れたくなる魅力を磨く		
2. 観光拠点を整備し、観光消費額を拡大する		
3. ブランドの構築や管理、販売促進のための活動を強化する		
8. まちづくり計画推進にあたっての基本的な考え方	P41	P119
○ 道路・施設等位置図	P131	
○ まちづくり基本構想 7つのテーマ別事業費	P135	

【6月補正(肉付け)予算】

ページ	事業名	担当	基本方針
8	こどもの居場所づくり補助事業	こども家庭部こども課こどもの国推進係	1 - 1
9	小学校照明設備改修事業	教育部教育総務課教育施設係	1 - 1
10	神興小学校整備改修事業	教育部教育総務課教育施設係	1 - 1
11	教育総合計画策定事業	教育部教育総務課総務企画係	1 - 3
12	中央公民館改修事業	教育部郷育推進課公民館係	3 - 2
13	地域介護・福祉空間施設整備事業	健康福祉部高齢者サービス課介護事業所指導係	3 - 3
14	農村地域防災減災事業	経済産業部農林水産課農業政策係	4 - 1
15	消防自動車購入事業	総務部防災安全課安心安全まちづくり係	4 - 1
16	地域防災行政無線整備事業	総務部防災安全課安心安全まちづくり係	4 - 1
17	防災事業	総務部防災安全課安心安全まちづくり係	4 - 1
18	乗合タクシー運行委託事業	都市整備部都市計画課都市政策係	4 - 2
19	東福岡駅周辺地域団地再生事業	都市整備部都市計画課都市政策係	4 - 2
20	道路ストック修繕更新事業	都市整備部建設課維持管理係	4 - 2
21	橋梁長寿命化修繕事業	都市整備部建設課建設係	4 - 2
22	新設小学校道路整備事業	都市整備部建設課建設係	4 - 2
23	通学路交通安全対策事業	都市整備部建設課建設係	4 - 2
24	津丸踏切改良事業	都市整備部建設課建設係	4 - 2
25	河川維持管理事業	都市整備部建設課維持管理係	4 - 2
26	空家対策事業	都市整備部都市計画課開発建築係	4 - 2
27	福岡駅前線整備事業（県営事業）	都市整備部建設課建設係	4 - 2
28	大規模公園改修事業	都市整備部建設課建設係	4 - 2
29	公園改修事業	都市整備部建設課維持管理係	4 - 2
30	津屋崎古墳群保存整備事業	教育部文化財課史跡整備係	5 - 1
31	産品消費拡大・販売促進事業	経済産業部商工振興課物産振興係	6 - 1
32	活力ある高収益型園芸産地育成事業	経済産業部農林水産課農業政策係	6 - 1
33	新規就農者育成総合対策事業	経済産業部農林水産課農業政策係	6 - 1
34	高収益作物導入支援事業	経済産業部農林水産課農業政策係	6 - 1
35	水田農業DX推進事業	経済産業部農林水産課農業政策係	6 - 1
36	県営ため池整備負担事業	経済産業部農林水産課農業政策係	6 - 1
37	創業支援事業	経済産業部商工振興課商工振興係	6 - 3
38	世界遺産保存活用事業	教育部文化財課世界遺産係	7 - 1
39	地域の魅力活性化事業	経済産業部観光振興課観光振興係	7 - 1
40	観光協会補助事業	経済産業部観光振興課観光振興係	7 - 1
41	行政経営推進事業事務費	経営企画部経営戦略課経営戦略係	8 - 0
42	行政評価推進事業	経営企画部経営戦略課経営戦略係	8 - 0
43	庁舎改修事業	総務部管財課管財係	8 - 0
44	企業版ふるさとづくり寄附金促進事業	経営企画部経営戦略課企画係	8 - 0
45	DXツール導入事業	経営企画部情報化推進課情報化推進係	8 - 0
46	地方創生促進事業	経営企画部経営戦略課経営戦略係	8 - 0

【当初(骨格)予算】

ページ	事業名	担当	基本方針
49	家庭児童相談室運営事業	こども家庭部こども課家庭児童相談係	1 - 1
50	障害児保育事業	こども家庭部こども課子育て支援係	1 - 1
51	私立保育所・管外保育所保育委託事業	こども家庭部こども課子育て支援係	1 - 1
52	認定こども園運営事業	こども家庭部こども課子育て支援係	1 - 1
53	児童センター事業	こども家庭部こども課こどもの国推進係	1 - 1
54	発達支援事業	こども家庭部子育て世代包括支援課子育て世代包括支援係	1 - 1
55	スクールカウンセラー配置事業	教育部学校教育課教育指導係	1 - 1
56	スクールソーシャルワーカー配置事業	教育部学校教育課教育指導係	1 - 1
57	特別支援教育支援員配置事業	教育部学校教育課教育指導係	1 - 1
58	新設小学校建設事業	教育部新設小学校準備室新設小学校準備係	1 - 1
59	福間小学校整備改修事業	教育部教育総務課教育施設係	1 - 1
60	福間南小学校整備改修事業	教育部教育総務課教育施設係	1 - 1
61	小学校トイレ洋式化事業	教育部教育総務課教育施設係	1 - 1
62	部活動指導員配置事業	教育部学校教育課教育指導係	1 - 1
63	中学校教科書指導書等購入事業	教育部学校教育課学務係	1 - 1
64	課題対応教員配置事業	教育部学校教育課学務係	1 - 1
65	津屋崎中学校整備改修事業	教育部教育総務課教育施設係	1 - 1
66	中学校トイレ洋式化事業	教育部教育総務課教育施設係	1 - 1
67	病児保育事業	こども家庭部こども課子育て支援係	1 - 2
68	医療的ケア児保育支援事業	こども家庭部こども課子育て支援係	1 - 2
69	学童保育所管理運営事業	こども家庭部こども課こどもの国推進係	1 - 2
70	学童保育所整備事業	こども家庭部こども課こどもの国推進係	1 - 2
71	地域子育て支援センター事業	こども家庭部こども課こどもの国推進係	1 - 2
72	ファミリー・サポート・センター事業	こども家庭部こども課こどもの国推進係	1 - 2
73	産後ケア事業	こども家庭部子育て世代包括支援課子育て世代包括支援係	1 - 2
74	産前・産後サポート事業	こども家庭部子育て世代包括支援課子育て世代包括支援係	1 - 2
75	育児相談事業	こども家庭部子育て世代包括支援課保健指導係	1 - 2
76	地域学校協働活動事業	教育部学校教育課教育指導係	1 - 3
77	地域クラブ移行実証事業	教育部郷育推進課スポーツ文化振興係	1 - 3
78	郷づくり交付金事業	市民共働部地域コミュニティ課郷づくり支援係	2 - 1
79	共働推進事業	市民共働部地域コミュニティ課郷づくり支援係	2 - 2
80	住みよいまちづくり推進企画活動補助事業	市民共働部地域コミュニティ課市民共働推進係	2 - 3
81	市民活動推進事業	市民共働部地域コミュニティ課市民共働推進係	2 - 3
82	被保護者健康管理支援事業	健康福祉部福祉課生活支援係	3 - 1
83	がん検診推進事業	健康福祉部いきいき健康課健康づくり係	3 - 1
84	中央公民館管理運営費	教育部郷育推進課公民館係	3 - 2
85	電子図書館運営事業	教育部郷育推進課図書サービス係	3 - 2
86	複合文化センター改修事業	教育部郷育推進課スポーツ文化振興係	3 - 2
87	親子野外活動支援事業	教育部郷育推進課青少年活躍推進係	3 - 2
88	カレッジ講座運営事業	教育部郷育推進課郷育係	3 - 2
89	男女共同参画推進事業	市民生活部男女共同参画推進室男女共同参画係	3 - 3
90	人権講演会事業	市民生活部人権政策課人権啓発・市民相談係	3 - 3

ページ	事業名	担当	基本方針
91	手話奉仕員養成研修事業	健康福祉部福祉課障がい福祉係	3 - 3
92	基幹相談支援センター事業	健康福祉部福祉課障がい福祉係	3 - 3
93	障害者成年後見制度利用支援事業	健康福祉部福祉課障がい福祉係	3 - 3
94	障害者ふれあい事業	健康福祉部福祉課障がい福祉係	3 - 3
95	就労支援職業カウンセリング事業	健康福祉部福祉課生活支援係	3 - 3
96	認知症サポーター育成事業	健康福祉部高齢者サービス課高齢者福祉係	3 - 3
97	整備推進事業	健康福祉部高齢者サービス課高齢者福祉係	3 - 3
98	ブロック塀等撤去促進事業	都市整備部都市計画課開発建築係	4 - 1
99	消防団活動支援事業	総務部防災安全課安心安全まちづくり係	4 - 1
100	ポンプ操法大会事業	総務部防災安全課安心安全まちづくり係	4 - 1
101	水防協議会運営事業	総務部防災安全課安心安全まちづくり係	4 - 1
102	国民保護協議会運営事業	総務部防災安全課安心安全まちづくり係	4 - 1
103	バス運行補助事業	都市整備部都市計画課都市政策係	4 - 2
104	地域交通体系協議会事業	都市整備部都市計画課都市政策係	4 - 2
105	コミュニティバス運行委託事業	都市整備部都市計画課都市政策係	4 - 2
106	市道維持事業	都市整備部建設課維持管理係	4 - 2
107	J R 福岡駅周辺施設維持管理事業	都市整備部建設課維持管理係	4 - 2
108	雨水浸水対策事業	都市整備部下水道課施設係	4 - 2
109	防犯防災等啓発事業	総務部防災安全課安心安全まちづくり係	4 - 3
110	交通安全対策事業	総務部防災安全課安心安全まちづくり係	4 - 3
111	古墳公園史跡等購入事業	教育部文化財課史跡整備係	5 - 1
112	公共エリア環境づくり事業	市民共働部うみがめ課資源リサイクル係	5 - 3
113	し尿処理施設整備事業	市民共働部うみがめ課清掃対策係	5 - 3
114	環境フォーラム開催事業	市民共働部うみがめ課環境づくり係	5 - 4
115	水産振興補助事業	経済産業部農林水産課水産林業政策係	6 - 2
116	世界遺産保存活用事業	経済産業部観光振興課観光振興係	7 - 1
117	津屋崎地区観光施設整備事業	経済産業部観光振興課観光振興係	7 - 2
118	行政・観光情報ステーション施設総務費	経済産業部観光振興課観光振興係	7 - 2
119	職員研修事業	総務部人事秘書課人事係	8 - 0
120	市制20周年記念事業	総務部人事秘書課広報広聴係	8 - 0
121	広報紙発行事業	総務部人事秘書課広報広聴係	8 - 0
122	共働のふるさとづくり寄附金促進事業	経済産業部商工振興課物産振興係	8 - 0
123	公共施設包括管理事業	総務部管財課公共施設マネジメント係	8 - 0
124	基幹系システム更新事業	経営企画部情報化推進課情報化推進係	8 - 0
125	戸籍システム更新事業	経営企画部情報化推進課情報化推進係	8 - 0
126	健康管理システム更新事業	経営企画部情報化推進課情報化推進係	8 - 0
127	ガバメントクラウド運用事業	経営企画部情報化推進課情報化推進係	8 - 0
128	公式ホームページ運営事業	総務部人事秘書課広報広聴係	8 - 0
129	市民窓口改善事業	市民生活部市民課市民係	8 - 0
130	市営住宅改修事業	総務部管財課管財係	8 - 0

調書の記載内容

調書は事業ごとに記載しています。

当初予算で計上している事業は「当初(骨格)」と、6月補正で計上している事業(当初計上で6月補正で一部増減も含む)は「6月補正(肉付け)」と表示しています

大事業名：予算書に◆印をつけて記載されています

●●●事業		款・項・目：予算書の参照先です		6月補正(肉付け)			
大事業		担当					
一般会計 (款)		(項)		(目)			
基本 構想	テーマ別目標像	「福津市まちづくり基本構想」における分類です					
	基本方針						
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
事業の内容 (具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)							
6月補正後(肉付け後)の予算額です 前年度の当初予算額です 指標：令和7年度中にめざす指標及びその目標値を数値などで客観的に表しています							
事業の達成度を測る指標							
指標①		指標②		指標③			
目標値		目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題 (現時点での課題)				【事前】成果 (事業の実施により見込まれる成果)			
事業実施の前段階での課題です				事業の実施前に見込まれる成果です			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額		科目等	内容	金額	

右上に「6月補正(肉付け)」と表示された事業の調書において、内容欄にある【当】は当初予算に計上された事業費を、【補】は6月補正予算で肉付けした事業費を表しています

[illegible]

小学校照明設備改修事業 6月補正(肉付け)						
大事業		小学校校舎施設整備事業費		担当	教育部教育総務課教育施設係	
一般会計		(款) 10 教育費	(項) 2 小学校費	(目) 3 学校建設費		
基本構想	テーマ別目標像	1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち				
	基本方針	1. 子どもの権利を守り、多様な子どもの居場所や主体的な参加の機会を促進する				
	分野別計画等	福津市教育総合計画				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源 一般財源
27,335	42,673	14,329		7,100	21,100	144
(単位:千円)						
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）						
水銀灯及び蛍光灯の生産が終了となるため、市内の小学校及び体育館の照明器具を令和3年度から計画的にLED照明器具に更新しています。LED化による照度の安定と長寿命かつ高効率な照明器具の設置を行うことで、消費電力量の減少や電灯の交換回数削減等の将来に向けたコスト低減を図ります。 令和7年度は、津屋崎小学校校舎の照明をLED照明器具に交換し、市内小学校のLED化が完了します。						
事業の達成度を測る指標						
指標①	LED化する小学校数	指標②		指標③		
目標値	1校	目標値		目標値		
実績		実績		実績		
【事前】課題（現時点での課題）			【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
計画的に改修を行い、市内小学校照明器具のLED化を進めてきました。残る小学校についても照明のLED化を進める必要があります。			津屋崎小学校の照明をLED化することで、照度の安定と将来のコスト削減が見込まれるとともに、市内全ての小学校のLED化が完了します。			
事業費の内訳 (単位:千円)						
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額	
委託料	積算業務委託料【補】	110				
工事請負費	LED照明設置工事費【補】	42,563				

神興小学校整備改修事業						6月補正(肉付け)	
大事業 小学校校舎施設整備事業費			担当 教育部教育総務課教育施設係				
一般会計 (款) 10 教育費			(項) 2 小学校費		(目) 3 学校建設費		
基本構想	テーマ別目標像	1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち					
	基本方針	1. 子どもの権利を守り、多様な子どもの居場所や主体的な参加の機会を促進する					
	分野別計画等	福津市教育総合計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
	9,493						9,493
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
神興小学校施設のうち、管理教室棟2棟・教室棟1棟・屋内運動場は、建築後50年が経過しており、老朽化が進んでいます。 そのため、神興小学校施設について、長寿命化等の対策を検討しており、長寿命化工事の設計及び国庫補助交付金申請に必要な施設の耐力度調査を実施します。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	耐力度調査実施件数	指標②		指標③			
目標値	1件	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
施設の今後の有効活用に向けての長寿命化工事には、耐力度調査による建物の状態診断が必要です。築50年を超える神興小学校の施設は、耐力度調査により老朽化の実態を総合的に把握することが重要となります。				耐力度調査の結果は、神興小学校の施設について、長寿命化を含めた改修等の基礎資料となります。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額		科目等	内容	金額	
委託料	建物調査委託料【補】	9,493					

教育総合計画策定事業						6月補正(肉付け)	
大事業 教育方針策定事業費			担当		教育部教育総務課総務企画係		
一般会計 (款) 10 教育費			(項) 1 教育総務費		(目) 2 事務局費		
基本構想	テーマ別目標像	1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち					
	基本方針	3. 豊かな体験を育み、社会に開かれた教育を推進する					
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
	4,073						4,073
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱となる「福津市教育大綱」について、福津市総合教育会議での協議を経て、令和7年度中に策定します。 市の教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めた「第2期福津市教育総合計画」の計画期間が令和8年度までとなっており、教育懇話会での審議を経て、令和8年度末までに次期計画を策定します。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	教育大綱の策定	指標②		指標③			
目標値	完了	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
福津市教育大綱は、平成30年3月に策定し、令和4年4月に一部改定を行っています。策定後、期間の経過に伴い教育大綱の見直しを検討する必要があります。 第2期福津市教育総合計画の計画期間は、令和8年度までとなっており、令和9年度から始まる次期教育総合計画を策定する必要があります。				市民の考えも取り入れながら、教育総合会議を経て、福津市教育大綱を策定できます。 教育大綱と連動し、令和8年度末までに第3期福津市教育総合計画策定に向け、業務を進行できます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額		科目等	内容	金額	
委託料	教育総合計画等策定支援業務委託料【補】	4,073					

中央公民館改修事業						6月補正(肉付け)		
大事業		中央公民館管理運営費		担当	教育部郷育推進課公民館係			
一般会計		(款)	10 教育費	(項)	6 社会教育費	(目)	2 公民館費	
基本構想	テーマ別目標像		3. 健康：健康で生き生きと暮らせるまち					
	基本方針		2. 生涯学習や活躍の機会を通じた生きがいを増進する					
	分野別計画等							
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源	(単位:千円)
	29,700			3,000	26,700			
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）								
施設の長寿命化及び維持管理経費の削減のため、施設・設備の改修を必要不可欠なものに絞り込み、実施します。 令和7年度は、長寿命化と維持管理経費の削減のため、老朽化した照明灯をLED化します。								
事業の達成度を測る指標								
指標①	LED化工事実施件数		指標②			指標③		
目標値	1件		目標値			目標値		
実績			実績			実績		
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）				
中央公民館は更新の時期（昭和63年7月完成、同年9月供用開始）を迎え、老朽化対策が大きな課題となっています。				照明灯をLED化することにより、照明灯の長寿命化が図れるとともに、中央公民館の電気使用料が削減されます。				
事業費の内訳 (単位:千円)								
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額	科目等	内容	金額
工事請負費	LED照明設置工事費【補】	29,700						

地域介護・福祉空間施設整備事業						6月補正(肉付け)		
大事業 高齢者福祉一般管理費			担当		健康福祉部高齢者サービス課介護事業所指導係			
一般会計		(款)	3 民生費	(項)	1 社会福祉費	(目)	5 高齢者福祉費	
基本構想	テーマ別目標像	3. 健康：健康で生き生きと暮らせるまち						
	基本方針	3. すべての人の自己決定や意思尊重を大切にする仕組みを育てる						
	分野別計画等	福津市国土強靱化地域計画						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						(単位:千円)
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源	
	16,970	16,970						
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）								
高齢者施設等の利用者等の安全・安心を確保するため、非常用自家発電設備を設置する予定のある事業所に対し、補助金を活用して整備を実施します。今年度2施設（地域密着型介護老人福祉施設、認知症対応型共同生活介護）において、自家発電設備を整備予定です。特に福津市地域防災計画において福祉避難所として指定されている施設の整備を優先順位とし、県と協議の上、採択された施設に対し整備に対する補助を行います。なお、事業の実施主体は事業所となります。								
事業の達成度を測る指標								
指標①	非常用自家発電設備の整備数		指標②			指標③		
目標値	2機		目標値			目標値		
実績			実績			実績		
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）				
高齢者施設等は、自力で避難することが困難な方々が多く利用しており、非常時に必要な業務が継続して行われることが必須です。近年の異常気象に伴う梅雨時期等の大水害など、非常時災害の頻度・被害の規模は年々増加しており、各地で高齢者施設における水害被害なども増加の一途をたどっています。				福祉避難所として指定されている施設を含め、要配慮者が生活する施設において、整備の実施により非常時でも必要最低限な業務を継続し、通常の生活が送れるように徐々に体制を整えることができていきます。				
事業費の内訳 (単位:千円)								
科目等	内容		金額	科目等	内容		金額	
負担金・補助及び交付金	地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金【補】		16,970					

農村地域防災減災事業						6月補正(肉付け)			
大事業 農業用施設整備事業費			担当		経済産業部農林水産課農業政策係				
一般会計		(款)	6 農林水産業費		(項)	1 農業費		(目)	4 農地費
基本構想	テーマ別目標像		4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち						
	基本方針		1. 災害に強いインフラ整備と地域防災力を強化する						
	分野別計画等								
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						(単位:千円)	
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源		
3,564	5,060	5,060							
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)									
市内には、93か所の農業用防災重点ため池があり、令和3年度から全ての防災重点ため池について、施設の劣化状況の調査を進めています。この調査結果により、農業用ため池の防災工事(老朽化対策、豪雨対策)の必要性や優先順位を判断しています。 【令和7年度】 農業用防災重点ため池 6か所で劣化状況調査を実施。									
事業の達成度を測る指標									
指標①	調査委託実施件数		指標②			指標③			
目標値	1件		目標値			目標値			
実績			実績			実績			
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)					
市内には、93か所の農業用防災重点ため池がありますが、その多くが、竣工されてから長い年数が経っており、劣化が進んでいます。また、江戸時代に竣工されたため池もあり、現在の安全基準を満たしていない施設も多数存在します。				農業用防災重点ため池の現状を把握し、その後の防災工事(老朽化対策、豪雨対策)につなげるための資料を整備します。					
事業費の内訳 (単位:千円)									
科目等	内容		金額	科目等	内容		金額		
委託料	劣化状況調査委託料【補】		5,060						

消防自動車購入事業						6月補正(肉付け)	
大事業 消防団活動事業費			担当	総務部防災安全課安心安全まちづくり係			
一般会計		(款) 9 消防費	(項) 1 消防費	(目) 1 非常備消防費			
基本構想	テーマ別目標像	4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち					
	基本方針	1. 災害に強いインフラ整備と地域防災力を強化する					
	分野別計画等	福津市地域防災計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					(単位:千円)
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	
	22,880			5,700	17,100		80
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
市民の安全安心を実現する福津市消防団は、陸上が11分団、水上が2分団の計13分団で編成されており、各地域の火災等における活動を担保するために消防自動車が20台（第3・第4分団に1台ずつ、その他各陸上分団に2台ずつ）配備されています。消防団活動において、消防自動車は活動に欠かせないものであり、消防団活動を滞りなく行うために、経年劣化等の対応として配備後26年をめぐりに車両を更新しており、概ね1年に1台のペースで更新する必要があります。 令和7年度には第7分団の車両を更新する予定です。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	更新する消防自動車台数	指標②		指標③			
目標値	1台	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
火災時対応においては、消防車両の不備等は許容されることはない中で、車両の老朽化に伴う修理費の増加が発生しています。 また、道路交通法改正に伴い、平成29年3月12日以降に普通自動車運転免許証を取得した人は、運転可能車両となる車両総重量が3.5トン未満とされ、新規入団者の中には運転できない団員もあり、早急かつ計画的な車両更新が必要となっています。				計画的な消防車両更新を実施することで、老朽化等における機械の不具合発生に事前に対処するとともに、平成29年3月12日以降に普通自動車運転免許を取得した団員も消防自動車を運転できるようにします。 このことにより、火災時における滞りない消火活動を確保し、市民の安全安心につなげていきます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額		科目等	内容	金額	
備品購入費	自動車購入費【補】	22,880					

[illegible]

防災事業					6月補正(肉付け)		
大事業 防災事業費			担当	総務部防災安全課安心安全まちづくり係			
一般会計		(款)	9 消防費	(項)	1 消防費	(目)	3 災害対策費
基本構想	テーマ別目標像	4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち					
	基本方針	1. 災害に強いインフラ整備と地域防災力を強化する					
	分野別計画等	福津市地域防災計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源
1,564	3,133						3,133
(単位:千円)							
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
本事業は、防災関連の計画や各種マニュアルの整備、非常用の備蓄品の購入を行っています。 市民が安全で安心に暮らせるまちづくりの人的強化のため、地域に減災に関する知識を有し、郷づくり推進協議会や自主防災組織をサポートする地域防災推進員を養成しています。また、災害対応は全ての業務に優先して、全庁的に取り組むことになっているため、市職員の訓練・研修を実施しています。 その他、登録者のパソコンや携帯電話等インターネットを利用して、情報を一斉に同報配信したり、防災行政無線の直近放送を確認できるサービスや「福津市総合防災マップ」を手軽に持ち歩け、簡単に閲覧できるサイト集「防災すまっぼん！」を運用して、市民が防災情報を迅速かつ確実に取得できるよう取り組んでいます。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	防災に関する講習会の実施回数	指標②	一斉防災訓練の実施回数	指標③			
目標値	3回	目標値	1回	目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
いつ起こるか分からない災害に備え、日頃から防災の知識を蓄え、訓練を行うことが重要です。「自助」、「共助」、「公助」の連携力を高めるため、研修や訓練等を通じて各々のスキルを向上させる必要があります。				職員や市民が「自助」、「共助」、「公助」の連携の必要性を理解して、災害に関する情報を迅速かつ確実に取得し、行動できるようになります。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
報償費	講師謝金【当】	90					
需用費	消耗品費【補】	2,504					
役務費	通信運搬費【当】	528					
使用料及び賃借料	電算ソフト使用料【当】	11					

乗合タクシー運行委託事業						6月補正(肉付け)	
大事業 地域交通体系整備事業費			担当 都市整備部都市計画課都市政策係				
一般会計 (款) 2 総務費		(項) 1 総務管理費		(目) 6 企画費			
基本構想	テーマ別目標像	4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち					
	基本方針	2. 暮らしやすさを実感できる生活基盤を整備する					
	分野別計画等	地域公共交通網形成計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
	6,306					4,781	1,525
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
令和7年10月1日の西鉄バス「津屋崎～鐘崎線」の一部廃止に合わせ、勝浦浜～福岡駅間に、地元タクシー事業者の所有するジャンボタクシー車両を利用し、通勤・通学時間帯のみを運行する乗合タクシーを導入します。 乗車定員：8名 運休日：日曜・祝日、12月31日～1月4日 運行本数：朝2.5往復、夕方2往復							
事業の達成度を測る指標							
指標①	乗合タクシー利用者数	指標②		指標③			
目標値	25人/日	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
令和7年10月1日付で西鉄バス「津屋崎～鐘崎線」のうち神湊波止場～津屋崎間が廃止されるため、廃止区間の通勤・通学の手段がなくなります。				廃止区間の通勤・通学の手段が確保されます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
需用費	印刷製本費【補】	172					
委託料	乗合タクシー運行委託料【補】	6,134					

道路ストック修繕更新事業						6月補正(肉付け)	
大事業 道路ストック事業費			担当 都市整備部建設課維持管理係				
一般会計		(款) 8 土木費	(項) 2 道路橋梁費	(目) 2 道路維持費			
基本構想	テーマ別目標像	4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち					
	基本方針	2. 暮らしやすさを実感できる生活基盤を整備する					
	分野別計画等	舗装個別施設計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
30,500	30,500			3,100	27,400		
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
道路管理者として、道路利用者および第三者の被害を防止する観点から、損傷状態を把握するための点検を実施することにより、損傷等による危険性の有無を判定し、危険性ありと判定した箇所においては、可能な限りの応急措置を実施するなど、当面の被害防止措置を講じ安全確保に努めています。 国土交通省が示す「道路ストック総点検実施要領」に基づき、舗装・のり面・土構造物・道路附属物・照明の各項目について点検調査を行い、補修や更新などの適切な維持管理を推進しています。 本事業では、舗装に関する修繕が必要と判断される路線に対して、舗装個別施設計画に基づき舗装の更新工事を実施するものです。 【令和7年度計画】 山手線舗装更新工事（L=530m）							
事業の達成度を測る指標							
指標①	舗装更新	指標②		指標③			
目標値	530m	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
国土交通省から道路ストックの適切な管理を行う旨の通知がなされています。 また、道路の修繕に関しては複数の自治会から要望されています。 通常の道路維持工事費では、特に状態が悪い箇所をスポット的に修繕するという対応にとどまっており、路線ごとの舗装の更新を強く望まれています。				道路は、市民生活を支える最も基礎的なインフラの一つです。 更新工事を行うことで、道路交通環境の快適性、安全性の向上につながります。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
委託料	道路測量調査設計委託料【補】	500					
工事請負費	道路修繕工事費【補】	30,000					

[illegible]

新設小学校道路整備事業						6月補正(肉付け)	
大事業 道路新設改良事業費			担当 都市整備部建設課建設係				
一般会計		(款) 8 土木費	(項) 2 道路橋梁費	(目) 5 道路新設改良費			
基本構想	テーマ別目標像	4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち					
	基本方針	2. 暮らしやすさを実感できる生活基盤を整備する					
	分野別計画等	福津市都市計画マスタープラン					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源
	21,000	10,460		10,500			40
(単位:千円)							
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
新設小学校への通学動線等の整備により、アクセス性の確保や、通行に係る安全性の向上を目的とする事業です。新設小学校は、宮司地区における防災拠点となる見込みであり、円滑に事前避難や、物資輸送等が行うことができるよう、道路整備に取り組むものです。 新設小学校建設事業等の進捗状況や、通学路交通安全プログラムに基づく合同点検、地元自治会要望を勘案し、関係機関との連携・調整により、本事業の推進を図ります。 【令和7年度計画】 道路整備測量設計(宮司50号線)							
事業の達成度を測る指標							
指標①	測量設計実施箇所数	指標②		指標③			
目標値	1か所	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
新設小学校の開校に伴い、周辺地域の交通状況が変化することが想定されます。教育委員会や地域、警察等と連携を重ね、道路整備を進める必要があります。				新設小学校へのアクセス機能を整備することで、避難経路の確保と周辺地域の移動経路の分散を図ることができ、移動の円滑化にも寄与することができます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額		科目等	内容	金額	
委託料	道路測量調査設計委託料【補】	21,000					

[illegible]

[illegible]

河川維持管理事業						6月補正(肉付け)		
大事業 河川維持管理事業費				担当	都市整備部建設課維持管理係			
一般会計		(款)	8 土木費	(項)	3 河川費	(目)	1 河川総務費	
基本構想	テーマ別目標像		4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち					
	基本方針		2. 暮らしやすさを実感できる生活基盤を整備する					
	分野別計画等							
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						(単位:千円)
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源	
32,899	30,468				18,000	338	12,130	
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）								
河川は、治水機能、利水機能、環境機能と大きく3つの役割を担っています。その中でも、大雨を安全に海まで流す治水機能は、近年多発している局地的豪雨などに起因する浸水被害などの発生を防止し、公共の安全を保持するために特に重要な機能であり、本機能を保全するための維持管理は適時適切に実施しなければなりません。 今年度は、令和4年度から段階的に実施している桜川護岸改良工事を進めるとともに、奴山川等、市内河川の計画的な浚渫工事を実施することにより、治水機能の確保に取り組みます。 【令和7年度計画】 桜川護岸改良工事（ブロック積、左岸20m） 奴山川他浚渫工事（3河川、全体V＝580㎡）								
事業の達成度を測る指標								
指標①	河川護岸改良		指標②	浚渫土砂		指標③		
目標値	左岸20m		目標値	580㎡		目標値		
実績			実績			実績		
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）				
近年多発している局地的豪雨による護岸の崩壊や、溢水に対応するため、護岸等の河川改良と、継続的な浚渫による河道の確保が必要です。また、経年劣化により破損等が発生している施設、更新が必要な機器類等が存在し、計画的な更新、改修が必要な状況です。				護岸改修や浚渫、雨水排除施設の保守・更新等、適切な維持管理を実施することにより、治水機能の保全が図られます。				
事業費の内訳 (単位:千円)								
科目等	内容		金額	科目等	内容		金額	
需用費	管理用品費【当】		6	委託料	警報機点検業務委託料【当】		238	
需用費	燃料代【当】		13	工事請負費	河川維持工事費【補】		22,000	
需用費	電気使用料【当】		280					
需用費	水道使用料【当】		30					
需用費	施設修繕料【当】		500					
役務費	公有物件災害共済掛金【当】		2					
委託料	集いの駅維持管理委託料【当】		4,112					
委託料	上西郷川維持管理委託料【当】		2,797					
委託料	大井手井堰維持管理委託料【当】		50					
委託料	ポンプ保守点検委託料【当】		440					

空家対策事業					6月補正(肉付け)		
大事業 空き家対策事業費			担当	都市整備部都市計画課開発建築係			
一般会計		(款) 8 土木費	(項) 4 都市計画費	(目) 1 都市計画総務費			
基本 構想	テーマ別目標像	4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち					
	基本方針	2. 暮らしやすさを実感できる生活基盤を整備する					
	分野別計画等	福津市空家等対策計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源
3,391	596						596
(単位:千円)							
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
市内の管理されていない空き家について、近隣住民の要望への対応、民間事業者と連携した空き家の有効活用及び窓口相談等を通して、生活環境の保全を図り、あわせて空き家の活用を促進します。 (1)所有者等の意識向上への働きかけ ①「まちづくり講座・出前編」や津屋崎空き家活用応援団と連携した「空き家セミナー」の開催 ②空き家実態調査で整備したデータベースを活用した所有者への働きかけ ③窓口相談や関係団体と連携した相談会の実施 (2)地域住民・民間事業者と連携した対策の取り組み 自治会等と連携した管理されていない空き家への対応や民間事業者との連携による空き家の有効活用の推進 空き家等の利活用促進に係る包括連携に関する協定書に基づく空家利活用促進 (3)特定空家等対策の取り組み 特定空家等は、倒壊、火災の危険性や雑草の繁茂、害虫の繁殖など地域住民の生活環境に悪影響を与えることもあることから、優先的に取り組みます。 空家等対策計画の中で、令和7年度を目標年として、下記の指標を目標としています。 ①問題空き家の解体や補修等による是正件数 25件（年間5件×5年） ②空き家バンク登録件数 10件（年間2件×5年） ③空き家バンク成約件数 5件（年間1件×5年）							
事業の達成度を測る指標							
指標①	問題空き家の解体や補修等による是正件数	指標②	空き家バンク登録件数	指標③	空き家バンク成約件数		
目標値	5件	目標値	2件	目標値	1件		
実績		実績		実績			
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
市内の空き家について、敷地内の草木の繁茂に関する苦情・相談、台風や強風等による瓦や壁材の飛散に関する苦情・相談が近隣住民や自治会から寄せられています。高齢化とともに空き家が増加し、適正な管理が行われず、防災、防犯、安全、環境及び景観面で地域住民の生活に深刻な影響を及ぼしています。				市内の問題空き家について、解体や補修が進むことで、近隣への防災、防犯、安全、環境及び景観面での悪影響が解消されます。 また、空き家バンクへの登録により、市場での流通が困難な物件を掘り起こし、市内の空き家解消に繋ぐことができます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
報酬	特定空家等審査会委員報酬【補】	50					
旅費	特定空家等審査会委員費用弁償【補】	20					
旅費	普通旅費【補】	22					
委託料	空き家所有者特定作業委託料【補】	504					

大規模公園改修事業						6月補正(肉付け)		
大事業		大規模公園等管理運営事業費		担当	都市整備部建設課建設係			
一般会計		(款)	8 土木費	(項)	4 都市計画費	(目)	4 都市公園費	
基本構想	テーマ別目標像	4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち						
	基本方針	2. 暮らしやすさを実感できる生活基盤を整備する						
	分野別計画等	福津市都市計画マスタープラン						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源	
25,052	10,052			4,900			5,152	
(単位:千円)								
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）								
福津市総合運動公園（なまずの郷）、久末総合公園（みずがめの郷）、あんずの里運動公園、宮の元公園、これら4つの大規模公園が供用されてから20年以上が経過し、施設等の経年劣化による事故発生が懸念されます。 本事業は、大規模公園内の施設を計画的に改修し、公園利用者へ安全安心なサービスを継続的に提供するとともに、公園のストック効果として、生活環境の改善やアメニティの向上等、生活の質の向上を図るものです。 【令和7年度計画】 あんずの里：ロープウェー改修工事 あんずの里：芝刈機(2台)購入								
事業の達成度を測る指標								
指標①	改修等施設数		指標②			指標③		
目標値	1施設		目標値			目標値		
実績			実績			実績		
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）				
老朽化等が発生している公園施設は、多数存在しており、公園利用者の安全確保・サービス向上等の面から撤去・統合だけではなく改修・更新の必要があります。				公園利用者に対して、より安全な提供サービスの向上につながり、利用者ニーズに沿った、より快適な場の提供ができます。				
事業費の内訳 (単位:千円)								
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額	科目等	内容	
使用料及び賃借料	照明器具賃借料【当】	4,752						
工事請負費	大規模公園施設改修工事費【補】	4,900						
備品購入費	農林水産機械購入費【補】	400						

公園改修事業					6月補正(肉付け)			
大事業 公園整備事業費			担当	都市整備部建設課維持管理係				
一般会計		(款) 8 土木費	(項) 4 都市計画費	(目) 4 都市公園費				
基本構想	テーマ別目標像	4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち						
	基本方針	2. 暮らしやすさを実感できる生活基盤を整備する						
	分野別計画等	福津市都市計画マスタープラン						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						(単位:千円)
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源	
5,000	5,000			5,000				
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）								
市内には市民にとって身近な公園が多数供用されており、施設等の老朽化やそれに伴う事故発生が懸念される状況です。施設改修・更新等を計画的に実施することで、公園利用者への安全安心なサービスの提供を図るものです。 【令和7年度計画】 休養施設（ベンチ）改修（5公園）								
事業の達成度を測る指標								
指標①	休養施設改修公園数	指標②		指標③				
目標値	5公園	目標値		目標値				
実績		実績		実績				
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）				
老朽化等が発生している公園施設は、多数存在しており、公園利用者の安全確保・サービス向上等の面から撤去・統合・更新の必要があります。				老朽化施設の改修等の再整備を行うことで、より安心で快適な憩いの場の提供と安全性の向上が図られます。				
事業費の内訳 (単位:千円)								
科目等	内容	金額		科目等	内容	金額		
工事請負費	都市公園維持工事費【補】	5,000						

津屋崎古墳群保存整備事業						6月補正(肉付け)	
大事業 古墳公園建設事業費			担当 教育部文化財課史跡整備係				
一般会計 (款) 10 教育費			(項) 6 社会教育費		(目) 5 文化財保護費		
基本構想	テーマ別目標像	5. 環境保全：自然・歴史・景観などの資源が守られ生かされるまち					
	基本方針	1. 受け継がれてきた自然を守り、育てる					
	分野別計画等	国指定史跡 津屋崎古墳群整備基本計画（新原・奴山古墳群整備計画）					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源
67,249	14,300	7,150	2,145		4,500		505
(単位:千円)							
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
国指定史跡津屋崎古墳群の保存と活用を図るため、保存整備を進める事業です。令和7年度は、津屋崎古墳群に含まれる新原・奴山古墳群で整備工事等を行います。内容は『第2次 新原・奴山古墳群整備計画』に基づく大型農業施設跡地等の整備工事です。大型農業施設跡地等整備工事では、砂質土盛土150.0㎡による整地、張芝750.0㎡、樹林整理として支障木伐採37本を行います。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	整備面積	指標②		指標③			
目標値	750㎡	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
ガイド団体や市民ワークショップ等では、解説板・誘導サイン、東屋などの休憩施設の整備、石室内部の公開等について早期の実現を求める声が寄せられています。また、世界遺産専門家会議委員からは、整備事業進捗の加速を求められています。				大型農業施設を撤去した跡地等の整備により、新原・奴山古墳群の保存整備が着実に進みます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
委託料	古墳整備工事設計監理委託料【当】	1,873					
工事請負費	古墳整備工事費【補】	12,427					

[illegible]

[illegible]

新規就農者育成総合対策事業						6月補正(肉付け)	
大事業 農林水産業経営強化事業費				担当	経済産業部農林水産課農業政策係		
一般会計		(款)	6 農林水産業費	(項)	1 農業費	(目)	3 農業振興費
基本 構想	テーマ別目標像		6. 地域産業：地域の産業が経済を支えるまち				
	基本方針		1. 農水産業分野の収益性を向上させ、担い手を育てる				
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源
45,150	61,710		61,710				(単位:千円)
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
市や北筑前普及指導センター、むなかた地域農業活性化機構、JAむなかた、農業委員会等の関係機関で行っているむなかた地域農業支援会議で新規就農希望者の情報を共有し、相談等への対応や経営計画の作成支援等を行うとともに、下記の国の交付金を活用した経営支援を実施します。 【①経営開始資金】次世代を担う農業者となることを目指す経営開始直後の新規就農者に対し、最長3年間経営開始資金を交付します。 1人当たりの交付額は1,500,000円。（夫婦共同経営の場合は1.5倍の2,250,000円。） 【②経営発展支援事業】次世代を担う農業者となることを目指すものに対し、就農後の経営発展のために、機械・施設等の導入を支援します。補助対象事業費の上限額は1,000万円（経営開始資金の交付対象者の場合は500万円）で、補助率は県支援分の2倍を国が支援します。 1人当たりの交付額は7,500,000円。（内訳：国1/2、県1/4、本人1/4：最大で国500万円、県250万円の計750万円、夫婦共同経営の場合は1.5倍の11,250,000円。） 【③指導者謝金】当該新規就農者を育成するためのサポートチームに参画する農業者に対して、指導者謝金を支出します。1人当たりの金額は30,000円。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	資金交付対象者数	指標②		指標③			
目標値	7者	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
農業従事者が減少し、農地の担い手不足や産地間での競争力の低下等の問題が出てきています。 また、新規就農初期においては、営農技術の不足や資金の不足等により農業経営が安定しないため、指導者による技術的支援や、農業経営が軌道に乗るために必要な初期費用に対する支援等を実施する必要があります。				①新たに農業経営を開始する者に対して資金を交付することにより、早期の経営安定や将来的に地域の中心となる担い手を育成します。 ②新たに農業経営を開始する者が機械・施設等を導入する際、その経費の一部を補助することにより、初期のコストを抑え、早期の経営安定や将来的に地域の中心となる担い手を育成します。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
報償費	指導者謝金【補】	210					
負担金・補助及び交付金	経営開始資金【補】	12,750					
負担金・補助及び交付金	経営発展支援事業補助金【補】	48,750					

高収益作物導入支援事業						6月補正(肉付け)		
大事業 農林水産業経営強化事業費			担当 経済産業部農林水産課農業政策係					
一般会計 (款) 6 農林水産業費		(項) 1 農業費		(目) 3 農業振興費				
基本 構想	テーマ別目標像		6. 地域産業：地域の産業が経済を支えるまち					
	基本方針		1. 農水産業分野の収益性を向上させ、担い手を育てる					
	分野別計画等							
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						(単位:千円)
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源	
3,000	3,000						3,000	
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）								
高付加価値で収益性が高い果樹等の産地の育成並びにブランド化を進めるために、重点作物の栽培施設・苗木購入への補助を行い生産農家を支援します。								
事業の達成度を測る指標								
指標①	補助金交付対象者数		指標②			指標③		
目標値	3名		目標値			目標値		
実績			実績			実績		
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）				
近年、自治体の財源確保の手段として他自治体も積極的にふるさと納税を活用していますが、福津市ではふるさと納税返礼品として人気が高く、それ以外の一般市場でも高付加価値で収益性が高い産品である果樹等の生産量が少ない状況となっています。				当事業により苗木や栽培に必要な資材購入の補助を行うことで、果樹栽培農業者を行う農業者を増やし、果樹産品の増産を図ります。 また、果樹産品をふるさと納税の返礼品として加えることでふるさと納税返礼品の魅力を向上させます。				
事業費の内訳 (単位:千円)								
科目等	内容		金額	科目等	内容		金額	
負担金・補助及び交付金	高収益作物導入支援補助金【補】		3,000					

水田農業DX推進事業						6月補正(肉付け)	
大事業 農林水産業経営強化事業費			担当 経済産業部農林水産課農業政策係				
一般会計 (款)		6 農林水産業費 (項)		1 農業費 (目)		3 農業振興費	
基本構想	テーマ別目標像	6. 地域産業：地域の産業が経済を支えるまち					
	基本方針	1. 農水産業分野の収益性を向上させ、担い手を育てる					
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
	3,229		2,152				1,077
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
水田農業にデジタル技術を活用し、生産管理の効率化に取り組む農業者に対して、スマート農業機械の導入に要する経費について補助金を交付します。 【令和7年度】 田植機等（1件）							
事業の達成度を測る指標							
指標①	補助金交付対象者数	指標②		指標③			
目標値	1名	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
農業従事者が減少している中で農地の集約化・生産管理の効率化を図り、持続可能な営農を支援するため、省力機械導入支援を行うことが必要です。				本事業で省力機械を導入することで、生産管理の効率化を図り、持続可能な営農環境を整えることができます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額		科目等	内容	金額	
負担金・補助及び交付金	水田農業DX推進事業補助金【補】	3,229					

創業支援事業						6月補正(肉付け)		
大事業 商工振興一般管理費			担当 経済産業部商工振興課商工振興係					
一般会計 (款) 7 商工費		(項) 1 商工費		(目) 2 商工振興費				
基本構想	テーマ別目標像	6. 地域産業：地域の産業が経済を支えるまち						
	基本方針	3. 起業・継業促進と事業所誘致で、働く場を増やす						
	分野別計画等	福津市中小企業振興基本計画						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						(単位:千円)
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源	
3,500	3,000						3,000	
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）								
市内で創業する個人または会社に対し、対象となる経費（改装費・設備費・広告宣伝費・事務所賃借料）の一部を補助し、市内における創業を支援するものです。創業期における経営支援を行い、経営の安定による本市での雇用の創出や地域経済の発展を図ります。補助金の交付決定は審査会にて行い、交付決定者は市商工会に加入するものとし、創業後においても継続して市商工会の経営支援を受け、経営の安定に努めるものとし、併せて、交付後の3年間は、毎年度、事業報告書の提出を求めることで、交付者の創業後の状況把握を行います。								
事業の達成度を測る指標								
指標①	補助金交付者数		指標②			指標③		
目標値	16名		目標値			目標値		
実績			実績			実績		
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）				
本事業は創業期の経営安定の一助として行う事業であり、事業者が継続して事業を行うためには、商工会や関係機関と連携し、支援を行うことが必要です。				創業計画書作成にあたっては、専門家派遣など商工会事業と連携することで創業後の経営状況のミスマッチを防ぐとともに、経営の安定による本市での雇用の創出や地域経済の発展が見込まれます。				
事業費の内訳 (単位:千円)								
科目等	内容		金額	科目等	内容		金額	
負担金・補助及び交付金	創業支援補助金【補】		3,000					

世界遺産保存活用事業						6月補正(肉付け)	
大事業 地方創生事業費			担当	教育部文化財課世界遺産係			
一般会計 (款)		2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	13 地方創生費	
基本構想	テーマ別目標像	7. 観光振興：福津の魅力を生かした持続可能な観光のまち					
	基本方針	1. 国内外の人が何度も訪れたくなる魅力を磨く					
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
4,937	3,036						3,036
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
新原・奴山古墳群を含む世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群については、福岡県、宗像市、福津市、宗像大社で組織する「保存活用協議会」において様々な事業を実施しています。 主なものとして、古墳群の発掘調査及び復元整備のため専門家による指導助言を受け、引き続き保存管理を進めます。公開活用としては、世界遺産の価値を周知するための一般向け公開講座の実施、夏休み期間には古墳群やカメリアステージ歴史資料館に誘客するための「カードラリー」事業の開催を予定しています。なお、今年も小学生用に作成している「世界遺産学習帳（がくしゅうちょう）（地理歴史編・環境学習編）」を市内小学生に教材として配布し、世界遺産学習に活用します。 なお、今後はインバウンドなど海外への遺産群PR事業を進める必要があります。福津市単独で行うには経費的にも難しく協議会事業として共同実施することが望ましいと考えています。今年度は、専門人材との協議を開始し、多言語化に向けた環境整備や外国人向けオンラインツアーを進めていきます。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	古墳群来訪者数	指標②	世界遺産に関する学習会の回数	指標③			
目標値	29,000人	目標値	7回	目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
世界遺産の新原・奴山古墳群を保存活用していくためには、行政だけではなく、地元や市内事業者の理解と協力が必要です。 コロナ感染が収まった事により、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会と協力して、インバウンド対応事業に力を入れていく必要があります。				国内外を対象にしたPR事業実施により、新原・奴山古墳群の来訪者が増え、津屋崎千軒や海岸等の観光周遊と観光消費額の増になると考えます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
旅費	普通旅費【当】	45					
負担金・補助及び交付金	世界遺産保存活用負担金【補】	2,978					
負担金・補助及び交付金	世界文化遺産地域連携会議負担金【補】	13					

地域の魅力活性化事業						6月補正(肉付け)	
大事業 観光事業費			担当		経済産業部観光振興課観光振興係		
一般会計		(款) 7 商工費	(項) 1 商工費		(目) 3 観光費		
基本 構想	テーマ別目標像	7. 観光振興：福津の魅力を生かした持続可能な観光のまち					
	基本方針	1. 国内外の人が何度も訪れたくなる魅力を磨く					
	分野別計画等	福津市観光基本計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
	9,600	4,800					4,800
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
本市では、観光振興を地域総体産業と位置付け、その推進は地域の活性化に繋がることとして取り組んでいます。観光振興の推進にあたって、観光地域づくり法人（DMO）がその中心的な役割を担いながら、アフターコロナにあたり観光入込客数が増加している勢いを更に伸ばすことができるよう次の事業を実施するものです。 【観光関連事業者調整業務】 農水産品の生産者や流通、飲食店、交通事業者など市内事業者が、来訪の受け入れ側として分析と企画・実践に取り組む動力源と成りうる体制を構築し、食フェアの開催やインバウンドを含む誘客など、来訪者の市内周遊による滞在時間の延長とそれに伴う観光消費の拡大を図るために、事業者で統一感を持った観光振興戦略の実現に取り組みます。 【地域の魅力総合PR業務】 観光総合ポータルサイトやSNSの運用、パンフレットの制作や活用、国内外メディアからの取材への適切な対応など各種媒体を通じて、本市の魅力を最大限に効果的かつ継続的に発信し、市の認知度向上とブランディング形成に取り組みます。 【地域の魅力再生業務】 観光誘客の更なる伸長の期待が見込める観光資源を点としてではなく面として捉えた上で、再生に向けた魅力の磨き上げやプロモーション活動など、観光消費の拡大に繋がるような事業の企画立案・実現に取り組みます。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	観光入込客数	指標②	食フェア等連携事業者数	指標③	観光総合ポータルサイトPV数		
目標値	6,315千人	目標値	100事業者	目標値	187,920PV		
実績		実績		実績			
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
DMOの発信力により、市の認知度向上や誘客には一定の成果が見受けられますが、来訪者の滞在時間の伸長や、市内事業者への経済的な波及効果、誘客に伸び悩む観光資源の磨き上げ等については、更なる取り組みの余地を残しています。また、情報社会の中で、新鮮な情報を積極的かつ継続して発信することが重要であり、様々な媒体による効果的な取り組みが必要になります。				産業種別を超えて多種多様な市内事業者が、統一感を持った観光戦略の動力源となって組織的に事業に取り組んだり、誘客に課題のある観光資源を磨き上げて効果的にPRすることによって、来訪者の市内周遊による滞在時間と観光消費の拡大に繋がります。また、本市の魅力を最大限に効果的かつ継続的に発信することで、市の認知度向上とブランディング形成の契機に繋げることができます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
委託料	観光関連事業者調整業務委託料【当】	4,600					
委託料	地域の魅力総合PR業務委託料【補】	4,000					
委託料	地域の魅力再生業務委託料【補】	1,000					

観光協会補助事業						6月補正(肉付け)	
大事業 観光協会補助事業費			担当 経済産業部観光振興課観光振興係				
一般会計		(款) 7 商工費	(項) 1 商工費		(目) 3 観光費		
基本 構想	テーマ別目標像	7. 観光振興：福津の魅力を生かした持続可能な観光のまち					
	基本方針	1. 国内外の人が何度も訪れたくなる魅力を磨く					
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源
4,440	4,440						4,440
(単位:千円)							
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
観光関連産業への経済効果を狙い、観光客の増加を図ります。観光サービスを提供する担い手である観光事業者に対する情報の提供や広報活動等の支援を行うとともに、様々なアプローチから来訪者を受け入れ、満足度を高めて再訪を促すための観光イベント等を企画・実施したり、ネットワーク構築に取り組む（一社）ふくつ観光協会に対して補助を実施します。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	観光イベント実施回数	指標②		指標③			
目標値	年35回	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
新しい価値観での観光事業を展開していくことが必要になっており、集客力の向上に合わせて滞在時間を延ばし、市内での消費を拡大させるような仕組みを構築したり、事業の企画・実施が必要になります。また協会として、イベントの企画・実施のための資金を生んでいくことが求められます。				本市の観光振興の両輪として、観光地域づくり法人（DMO）と連携・協力しながら、来訪者の新しい価値観での観光事業を展開し、集客力の向上に合わせて滞在時間を延ばすことによって、市内での消費を拡大させ、観光基本計画に掲げる地域総体産業の活性化に繋げることができます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
負担金・補助及び交付金	観光協会補助金【補】	4,440					

行政経営推進事業事務費						6月補正(肉付け)		
大事業	行政経営推進事業費			担当	経営企画部経営戦略課経営戦略係			
一般会計		(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	1 一般管理費	
基本構想	テーマ別目標像		8. まちづくり計画推進にあたっての基本的な考え方					
	基本方針							
	分野別計画等							
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源	
18	652						652	
(単位:千円)								
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)								
まちづくり指針の遂行に向けて、行政諸課題の調査研究を進めるにあたり、有識者を招き様々な助言を聴取します。								
事業の達成度を測る指標								
指標①	有識者からの助言聴取回数		指標②			指標③		
目標値	3回		目標値			目標値		
実績			実績			実績		
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)				
近年の物価高への対応や地域経済の更なる活性化などの本市が抱える諸課題に対し、改善策の検討を行い、より良いまちづくりに繋げていく必要があります。				有識者からの助言を聴取することで、より深い行政諸課題への改善策の調査研究に繋がります。				
事業費の内訳 (単位:千円)								
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額	科目等	内容	金額
報償費	助言者謝金【補】	140						
旅費	助言者実費弁償【補】	500						
旅費	普通旅費【当】	2						
需用費	事務用品費【当】	10						

行政評価推進事業						6月補正(肉付け)	
大事業 行政経営推進事業費			担当	経営企画部経営戦略課経営戦略係			
一般会計 (款) 2 総務費		(項) 1 総務管理費	(目) 1 一般管理費				
基本 構想	テーマ別目標像	8. まちづくり計画推進にあたっての基本的な考え方					
	基本方針						
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
906	950						950
事業の内容 (具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)							
まちづくり計画・行財政改革における市の取り組みに対し、PDCAサイクルを前提とした改善を目的に進捗評価を行います。事務事業評価レベルにおける市内部の自己評価を基礎として、福津市みんなですすめるまちづくり基本条例第14条第2項に基づく外部評価である行政評価委員会を通じて有識者の評価を受けます。また、市民の評価を受ける手立てとして、市民意識調査を実施します。調査についてはより多くの市民の方から回答が得られるよう、更なる回答数向上への取り組みを行います。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	委員会開催回数	指標②	市民意識調査回答数	指標③			
目標値	7回	目標値	1,000件	目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題 (現時点での課題)				【事前】成果 (事業の実施により見込まれる成果)			
行政評価委員会におけるまちづくり基本構想の推進状況の評価については、施策レベルの評価に取り組んでいますが、施策の方向性をより意識してすすめる必要があります。 市民意識調査については有効な調査結果を得るため、回答数の増加に向けた取り組みが必要です。				行政評価委員会では、委員と担当職員が対話形式で進行することで、各取り組みにおける課題をより明確化していきます。また、様々な分野における経験や専門性がある委員から客観的かつ幅広い視野から施策の方向性に対する示唆を受けることができます。市民意識調査については、経年で市民のニーズを把握していくことで、各施策の進捗状況の確認を行い、今後の施策展開に生かします。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
報酬	行政評価委員会委員報酬【当】	240					
報償費	謝礼品代【補】	8					
旅費	行政評価委員会委員費用弁償【当】	98					
需用費	事務用品費【補】	17					
役務費	通信運搬費【補】	587					

[illegible]

企業版ふるさとづくり寄附金促進事業						6月補正(肉付け)		
大事業 共働のふるさとづくり寄附金事業費			担当		経営企画部経営戦略課企画係			
一般会計 (款)		2 総務費 (項)		1 総務管理費 (目)		5 財産管理費		
基本 構想	テーマ別目標像		8. まちづくり計画推進にあたっての基本的な考え方					
	基本方針							
	分野別計画等							
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)	
168	1,000						1,000	
事業の内容 (具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)								
本市の地方創生の推進にあたっては、国の地方創生に関する交付金を主な財源として取り組むとともに、新たな財源を確保する観点から、企業版ふるさとづくり寄附金の活用を図ってきました。 企業版ふるさと納税の仕組み構築から4年が経過し、徐々に取り組みが広がりつつある中で、今後は継続的な財源確保に向けてリピーター確保に取り組むとともに、新規寄附事業者の開拓に向けて企業版ふるさと納税マッチング支援事業者への業務委託を実施します。また、企業版ふるさと納税は単に財源として寄附をいただくだけでなく、企業との連携を模索するきっかけにもしていきます。								
事業の達成度を測る指標								
指標①	寄附額		指標②			指標③		
目標値	5,000千円		目標値			目標値		
実績			実績			実績		
【事前】課題 (現時点での課題)				【事前】成果 (事業の実施により見込まれる成果)				
企業版ふるさと納税の仕組み構築から4年が経過し、寄附をいただいた企業数及び寄附額は伸び悩んでいます。				第3次福津市行財政改革大綱実施計画に掲げる目標効果額 (1,000千円) を達成し、更なる地方創生の推進につなげることができます。また、マッチング支援の実施により新規寄附事業者を開拓することができます。				
事業費の内訳 (単位:千円)								
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額			
委託料	企業版ふるさと納税業務委託料【補】	1,000						

DXツール導入事業						6月補正(肉付け)	
大事業 電算システム維持管理事業費			担当 経営企画部情報化推進課情報化推進係				
一般会計 (款) 2 総務費		(項) 1 総務管理費		(目) 7 電子計算費			
基本 構想	テーマ別目標像	8. まちづくり計画推進にあたっての基本的な考え方					
	基本方針						
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
	10,558	5,279					5,279
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)							
スキャナとA I - O C R (人工知能を用いた光学文字読み取りソフトウェア)を導入します。 スキャナは紙の申請書などをPDFファイル(アプリケーションがなくても印刷、閲覧をするための書式)などに電子化し、そのPDFファイルには自動的に文字の情報を埋め込むことができるため、パソコンでキーワード検索できるようになります。 A I - O C Rとは、読み込んだPDFファイルのあらかじめ指定した位置の情報をCSV(カンマで区切った文字情報)ファイルに変換するもので、多数の申請書をエクセルに自動入力できるため、インポート機能やRPA(自動操作ソフトウェア)を活用することでシステムに容易に入力でき、手作業を大幅に削減し事務の効率化が行えます。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	スキャナ導入台数	指標②	O C R導入数	指標③			
目標値	23台	目標値	3ライセンス	目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)			
大量の書類の検索や申請書の入力に時間がかかっていると思われます。				O C Rにより、紙データを文字データに変換し、RPAを活用することでシステムへの入力業務が省力化されることが期待されます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
備品購入費	印刷複写機類購入費【補】	10,558					

当初（骨格）予算

家庭児童相談室運営事業						当初(骨格)		
大事業 相談体制整備事業費			担当		こども家庭部こども課家庭児童相談係			
一般会計		(款)	3 民生費	(項)	2 児童福祉費	(目)	1 児童福祉総務費	
基本構想	テーマ別目標像		1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち					
	基本方針		1. 子どもの権利を守り、多様な子どもの居場所や主体的な参加の機会を促進する					
	分野別計画等		福津市こども計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源	(単位:千円)
16,613	17,644	8,400	2,192				7,052	
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）								
こども自身やその保護者等から、こどもに関する心配や悩みの相談を受け、関係機関と連携し早期に効果的な問題解決のための支援及び援助を行います。面談、電話で相談を受け、必要に応じて家庭訪問を行い、親子の心身の状況や養育環境等を把握し、支援が必要な家庭に対しては助言や適切なサービスの提供につなげるとともに、虐待を防止します。また、要保護児童対策地域協議会の調整機関として、情報収集や連携を行います。								
事業の達成度を測る指標								
指標①	相談・対応支援における年度内最終割合		指標②	要保護児童対策地域協議会開催数		指標③	地域連携会議件数	
目標値	50%		目標値	9回		目標値	80件	
実績			実績			実績		
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）				
こども家庭センターの児童福祉機能としてこども家庭相談への対応に取り組んでいきますが、支援が必要なこどもの把握や多様化する相談内容への対応には関係機関との連携強化が必要です。 また、虐待の未然防止・早期発見・対応については、関係機関との連携に加えて、相談員の専門性の強化や研修・啓発活動の充実が課題です。				連携強化により、支援が必要なこどもを把握します。支援につながっていないこどもについては、関係機関と連携し、必要な支援につながるよう対応します。 また、家庭における適正な児童養育、その他家庭児童福祉の向上並びにひとり親家庭、寡婦及び寡夫の自立を支援し、相談者の子育てに関する問題解決を図ります。				
事業費の内訳								
(単位:千円)								
科目等	内容		金額	科目等	内容		金額	
報酬	会計年度任用職報酬		8,822	需用費	消耗品費		174	
職員手当等	期末手当		2,537	役務費	自動車損害共済保険料		14	
職員手当等	勤勉手当		2,238	備品購入費	電子計算機購入費		142	
共済費	共済組合負担金		1,248	備品購入費	視聴覚器具購入費		230	
共済費	厚生年金保険料		1,606	負担金・補助及び交付金	職員研修負担金		5	
共済費	雇用保険料		199					
報償費	指導者謝金		100					
旅費	会計年度任用職員費用弁償		245					
旅費	普通旅費		52					
旅費	研修旅費		32					

[illegible]

児童センター事業					当初(骨格)		
大事業 児童センター事業費			担当	こども家庭部こども課こどもの国推進係			
一般会計		(款)	3 民生費	(項)	2 児童福祉費	(目)	6 FUCSTA (フクスタ) 事業費
基本構想	テーマ別目標像		1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち				
	基本方針		1. 子どもの権利を守り、多様な子どもの居場所や主体的な参加の機会を促進する				
	分野別計画等		福津市こども計画				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					(単位:千円)
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	
12,803	14,040						14,040
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
放課後や休日のこどもの居場所として、こどもが置かれている環境や状況に関わりなく、権利の主体であることを実感しつつ、自由に来館して過ごせる環境を充実させていきます。また、その中で様々な経験や体験ができるように定期的なお話の会などを含めたこども教室を開催していきます。 また、こどもの自主性を育むために、センターでの企画や活動をこどもとともに考えていくような取組の場としてFUCSTA倶楽部を再構築していきます。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	利用者数		指標②	こども教室参加者数		指標③	FUCSTA倶楽部参加者数
目標値	13,253人		目標値	180人		目標値	30人
実績			実績			実績	
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
FUCSTA倶楽部の活動に、こどもが興味を持って主体的に関われるようにこどもからの意見を反映できる仕組みづくりが必要です。				こどもの居場所となり、その中でこどもの知的・社会的適応力を養うことができます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額	科目等	金額
報酬	会計年度任用職報酬	11,674					
職員手当等	期末手当	506					
職員手当等	勤勉手当	447					
共済費	共済組合負担金	249					
共済費	厚生年金保険料	319					
共済費	雇用保険料	40					
共済費	労災保険料	44					
報償費	講師謝金	40					
旅費	会計年度任用職員費用弁償	580					
需用費	消耗品費	141					

発達支援事業					当初(骨格)		
大事業		発達支援センター事業費		担当	こども家庭部子育て世代包括支援課子育て世代包括支援係		
一般会計		(款)	3 民生費	(項)	2 児童福祉費	(目)	7 発達支援センター事業費
基本構想	テーマ別目標像		1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち				
	基本方針		1. 子どもの権利を守り、多様な子どもの居場所や主体的な参加の機会を促進する				
	分野別計画等		福津市こども計画				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					(単位:千円)
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	
33,600	33,606	1,471	764				31,371
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
発達に遅れや不安のある0～18歳のこどもと保護者を対象に、臨床心理士等の専門職員が小集団活動、個別指導、学校・学童・園訪問で助言や指導を行います。							
① 臨床心理士、言語聴覚士、保育士等により、発達の遅れや不安のあるこどもと保護者の小集団活動（ほっとタイム）や個別指導を行います。							
② 学校・学童・園（幼稚園、保育施設）訪問は各課と連携をして行い、より専門的な立場から相談、助言等を行います。							
③ 乳幼児健診（1歳半健診、3歳健診）の際、ことば相談を実施し、必要に応じて助言や支援事業の案内を行います。							
④ スマイルクラブ事業は、発達障がい的特性が見られる児童とその保護者に対して、個別あるいは集団的な療育を行い、児童の発達支援と保護者への助言を行います。							
⑤ 市内保育園（所）、幼稚園及び小学校並びに学童保育所の職員と指導員を対象に、こどもの発達に関する学習会を年4回実施します。（1回は学童保育所向け）							
⑥ 就学相談に向けての相談、検査を行い、関係機関と連絡調整、情報共有を行います。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	相談件数		指標②	ほっとタイム利用者数（延）		指標③	スマイルクラブ利用者数（延）
目標値	2,000件		目標値	300人		目標値	876人
実績			実績			実績	
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
知的な遅れはないが適応力につまずきのある「グレーゾーン」と思われるこどもの相談が増えていきます。保育施設・幼稚園でも支援の必要なこどもが多く、支援方法もそれぞれ違うため対応が難しくなっています。さらに保護者の理解が得られず支援に繋がらないこどももいます。そのため離職する保育士が増え、保育士不足に繋がっています。子育て世帯に対する包括的な相談支援と保育施設・幼稚園への訪問支援の強化が課題となっています。				事業全体を一括して業務委託することで、人件費等の経費や業務の効率化が進みます。保育施設・幼稚園へ臨床心理士や市の保育士、保健師等の専門職が訪問し、気になるこどもへの対応や保護者対応の支援を行い、こどもに寄り添った環境を整える事でこどもの育ちや保育士の離職軽減にもつながります。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容		金額	科目等	内容		金額
報償費	指導者謝金		140				
旅費	普通旅費		2				
需用費	消耗品費		5				
需用費	事務用品費		11				
需用費	管理用品費		1				
需用費	事務機器修繕料		32				
役務費	通信運搬費		144				
委託料	発達支援事業委託料		33,271				

スクールカウンセラー配置事業						当初(骨格)	
大事業 教育相談事業費			担当		教育部学校教育課教育指導係		
一般会計		(款) 10 教育費	(項) 1 教育総務費		(目) 2 事務局費		
基本 構想	テーマ別目標像	1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち					
	基本方針	1. 子どもの権利を守り、多様な子どもの居場所や主体的な参加の機会を促進する					
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源
3,468	3,438						3,438
(単位:千円)							
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
スクールカウンセラーを配置し教育相談に応じる事業です。 スクールカウンセラーは、県から3中学校区に1名ずつ派遣されています。福間中学校には週8時間配置されていますが、福間東中学校と津屋崎中学校は週4時間しか配置されていないため、県から派遣される同一の方に対し市費で時間を追加して配置します。小学校にあっては、さらに1名を巡回型として配置します。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	県費スクールカウンセラー配置時間数	指標②	市費スクールカウンセラー配置時間数	指標③			
目標値	1,445.5時間	目標値	605.5時間	目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
いじめや不登校など学校生活での困り感を感じる児童生徒や保護者は増加傾向にあります。				スクールカウンセラーの相談により、困り感を感じる児童生徒や保護者の悩みなどの軽減につながります。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
報酬	会計年度任用職報酬	3,300					
共済費	労災保険料	12					
旅費	会計年度任用職員費用弁償	126					

スクールソーシャルワーカー配置事業						当初(骨格)	
大事業 教育相談事業費			担当		教育部学校教育課教育指導係		
一般会計 (款) 10 教育費			(項) 1 教育総務費		(目) 2 事務局費		
基本 構想	テーマ別目標像	1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち					
	基本方針	1. 子どもの権利を守り、多様な子どもの居場所や主体的な参加の機会を促進する					
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
11,842	11,746	2,300	466				8,980
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
不登校、暴力行為、児童虐待等の問題を抱える児童生徒の環境を改善し、教育を補償するため、スクールソーシャルワーカーを配置し、関係機関と連携して問題解決を図ります。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	スクールソーシャルワーカー配置数	指標②		指標③			
目標値	3名	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
不登校や児童虐待など、様々な支援を要する児童生徒は増加しています。保護者への支援が必要なケースも多くなっています。				スクールソーシャルワーカーの配置により、児童生徒、学校、家庭及び関係機関などの、児童生徒を取り巻く社会資源の連携が強化されます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
報酬	会計年度任用職報酬	11,336					
共済費	労災保険料	39					
旅費	会計年度任用職員費用弁償	198					
需用費	事務用品費	30					
役務費	通信運搬費	143					

特別支援教育支援員配置事業						当初(骨格)	
大事業 特別支援教育事業費			担当 教育部学校教育課教育指導係				
一般会計 (款) 10 教育費			(項) 1 教育総務費		(目) 2 事務局費		
基本 構想	テーマ別目標像	1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち					
	基本方針	1. 子どもの権利を守り、多様な子どもの居場所や主体的な参加の機会を促進する					
	分野別計画等	福津市教育総合計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
57,999	65,084						65,084
事業の内容 (具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)							
小・中学校において障がいのある児童生徒に対して、より安定した学校生活を送れるように食事、排泄、教室の移動補助等、学校における日常生活動作の介助のほか学習活動上のサポートを行うなど、個に応じた支援をするため、特別支援教育支援員を配置します。 支援員の配置により、より質の高い学級運営、授業の効率化を実現し、教職員の負担軽減を図ります。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	特別支援教育支援員数	指標②		指標③			
目標値	59名	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題 (現時点での課題)				【事前】成果 (事業の実施により見込まれる成果)			
特別な支援を要する児童生徒が増加しており、学級内で担任の指導だけでは、目が行き届かず、安全かつきめ細やかな支援が非常に困難な状況があります。				小・中学校において障がいのある児童生徒等、特別な支援を必要とする児童生徒に対して、きめ細かな支援のサポートができるようになり、より安定した学校生活を送れるようになります。また、飛び出しや衝動的な行動等を多くの目で見守ることにより、未然にトラブル等を防ぐことができ、かつ教職員の負担軽減による授業の効率化も期待できます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額		科目等	内容	金額	
報酬	会計年度任用職報酬	61,839					
共済費	労災保険料	216					
旅費	会計年度任用職員費用弁償	3,019					
旅費	普通旅費	10					

新設小学校建設事業						当初(骨格)	
大事業 小学校校舎施設整備事業費			担当 教育部新設小学校準備室新設小学校準備係				
一般会計		(款) 10 教育費	(項) 2 小学校費		(目) 3 学校建設費		
基本構想	テーマ別目標像	1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち					
	基本方針	1. 子どもの権利を守り、多様な子どもの居場所や主体的な参加の機会を促進する					
	分野別計画等	福津市新設小学校基本計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
582,913	1,807,975	389,433		257,500	1,160,400		642
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
過大規模となっている福間小学校と津屋崎小学校の児童数を緩和し、教育環境の改善のため、宮司地区に分離新設小学校を整備します。また、新設小学校を卒業した児童の進学先を津屋崎中学校とすることで、今後過大規模となることが推計されている福間中学校の規模の緩和も進めます。 ○新設小学校規模 □教室数 普通教室24教室 特別支援教室10教室 □校舎 R C 造 延べ床面積 約8,500㎡ □体育館 約1,200㎡ ○主なスケジュール □令和7年度 建設工事、造成工事 □令和8年度 建設工事、造成工事 □令和9年度4月 開校							
事業の達成度を測る指標							
指標①	造成工事		指標②	建設工事の進捗率		指標③	
目標値	1・2工区完了, 3工区着手		目標値	30%		目標値	
実績			実績			実績	
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
過大規模校となっている福間小学校は、学校活動に制約が発生しています。福間小学校の児童数は、令和9年度まで増加し続けると推計しており、学校活動への影響が一層増加するため、早急に過大規模を緩和し、教育環境の改善を進める必要があります。				新設小学校建設により、福間小学校に通学する児童数を最大約620人減少させ、福間小学校の過大規模の緩和・教育環境の改善を図ることができます。 また、新設小学校を卒業した児童の進学先を津屋崎中学校とすることで、令和6年度以降過大規模校となる福間中学校の生徒数が最大で約310人減少し、福間中学校の過大規模の緩和にもつながります。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
旅費	普通旅費	45					
旅費	研修旅費	242					
需用費	消耗品費	75					
需用費	事務用品費	24					
委託料	新設小学校工事監理委託料	33,358					
使用料及び賃借料	駐車場使用料	3					
工事請負費	新設小学校建設地造成工事費	258,000					
工事請負費	新設小学校新築工事費	1,516,000					
負担金・補助及び交付金	職員研修負担金	228					

福間小学校整備改修事業						当初(骨格)	
大事業 小学校校舎施設整備事業費			担当 教育部教育総務課教育施設係				
一般会計 (款) 10 教育費			(項) 2 小学校費		(目) 3 学校建設費		
基本 構想	テーマ別目標像		1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち				
	基本方針		1. 子どもの権利を守り、多様な子どもの居場所や主体的な参加の機会を促進する				
	分野別計画等		福津市教育総合計画				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
108,478	108,478						108,478
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)							
福間小学校の過大規模緩和への対応として宮司地区に分離新設校を建設することとしていますが、新設小学校の開校を予定している令和9年度までの間においても、福間小学校の児童数増加により教室等が不足するため、整備した仮設のリース校舎により、教室不足の解消・学習環境の確保を図ります。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	校舎賃貸借数		指標②			指標③	
目標値	1校舎		目標値			目標値	
実績			実績			実績	
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)			
過大規模校である福間小学校では、児童の教育活動が制約されています。新設小学校の開校を予定している令和9年度までの間も教育環境の保全に努めていく必要があります。 児童数の変化や施設の老朽化等の諸課題について、対応策を見出しながら、活動スペースを確保していく必要があります。				令和5年度に設置された仮設のリース校舎の管理を継続し、賃貸借契約を確実に履行することで学習環境を確保します。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
使用料及び賃借料	学校仮設校舎賃借料	108,478					

福間南小学校整備改修事業						当初(骨格)		
大事業 小学校校舎施設整備事業費			担当 教育部教育総務課教育施設係					
一般会計 (款) 10 教育費			(項) 2 小学校費		(目) 3 学校建設費			
基本構想	テーマ別目標像		1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち					
	基本方針		1. 子どもの権利を守り、多様な子どもの居場所や主体的な参加の機会を促進する					
	分野別計画等		福津市教育総合計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						(単位:千円)
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源	
109,619	27,698			5,300			22,398	
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)								
過大規模となっている福間南小学校では、児童数の増加による教室不足に対して、リース校舎の増築等に対応してきており、整備済みのリース校舎の賃貸借を継続し必要な教室の確保を行います。 また、令和7年度は、体育館の扉の建具を改修します。								
事業の達成度を測る指標								
指標①	校舎賃貸借数		指標②	改修施設数		指標③		
目標値	1校舎		目標値	1施設		目標値		
実績			実績			実績		
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)				
福間南小学校では、令和4年度をピークに児童数が減少していますが、今後も過大規模の状態が続くと推計しています。加えて、特別な支援を要する児童に対応するための教室や不足する特別教室等への対応のため、リース校舎を含めた既存施設を工夫して活用する必要があります。 また、体育館の扉の建具が老朽化しており、安全性と利便性を確保するため、改修する必要があります。				整備済みのリース校舎の賃貸借を継続し、必要な教室の確保を行います。 また、施設の改修を行うことにより、安全安心な教育環境の確保に努めます。				
事業費の内訳 (単位:千円)								
科目等	内容		金額	科目等	内容		金額	
使用料及び賃借料	学校校舎賃借料		22,374					
工事請負費	小学校改修工事費		5,324					

小学校トイレ洋式化事業						当初(骨格)	
大事業		小学校校舎施設整備事業費		担当	教育部教育総務課教育施設係		
一般会計		(款) 10 教育費	(項) 2 小学校費	(目) 3 学校建設費			
基本構想	テーマ別目標像	1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち					
	基本方針	1. 子どもの権利を守り、多様な子どもの居場所や主体的な参加の機会を促進する					
	分野別計画等	福津市教育総合計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源
92,675	50,025	12,954		9,300	27,700		71
(単位:千円)							
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)							
市内学校施設には、和式便器や湿式床のトイレがあります。トイレの衛生環境改善には、トイレの和式便器の洋式化、湿式床の乾式化が非常に有効とされています。 本事業は、令和3年度から計画的に学校施設のトイレの衛生環境改善に取り組んできたもので、令和7年度においては、津屋崎小学校の第2期の改修を実施します。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	改修実施小学校数	指標②		指標③			
目標値	1校	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)			
計画的に改修を行い、課題としていたトイレの和式便器や湿式の状態の改善が進んでいます。しかし、少数ながら和式や老朽化した設備があるため、今後も計画的に維持管理を実施していく必要があります。				和式便器を洋式便器へ、湿式の床を乾式の床へ改修することにより、児童の使いやすさに加えて、衛生面の向上も図ることができます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額		科目等	内容	金額	
工事請負費	小学校改修工事費	50,025					

部活動指導員配置事業						当初(骨格)	
大事業 中学校一般管理費			担当 教育部学校教育課教育指導係				
一般会計 (款) 10 教育費			(項) 3 中学校費		(目) 1 学校管理費		
基本構想	テーマ別目標像		1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち				
	基本方針		1. 子どもの権利を守り、多様な子どもの居場所や主体的な参加の機会を促進する				
	分野別計画等		福津市教育総合計画				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
1,919	1,965		1,008				957
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)							
部活動では、土日に開催される大会への引率等に伴う顧問教職員の負担軽減や、専門的な知識・技能を持たない教職員が顧問となる場合の生徒に対する指導力の質の向上等が課題となります。 そこで、専門的な知識・技能を有する部活動指導員を配置することで、教職員の働き方改革と部活動指導体制の充実、資質向上を図ります。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	部活動指導員配置人数		指標②	部活動指導員の指導回数		指標③	
目標値	9名		目標値	315回		目標値	
実績			実績			実績	
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)			
部活動指導体制の充実及び教職員の負担軽減を図る必要があります。				部活動の指導体制が充実するとともに、教職員の負担軽減が図られます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
報酬	会計年度任用職報酬	1,769					
共済費	労災保険料	7					
旅費	会計年度任用職員費用弁償	189					

中学校教科書指導書等購入事業						当初(骨格)	
大事業 中学校教育振興費			担当 教育部学校教育課学務係				
一般会計 (款) 10 教育費			(項) 3 中学校費		(目) 2 教育振興費		
基本 構想	テーマ別目標像		1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち				
	基本方針		1. 子どもの権利を守り、多様な子どもの居場所や主体的な参加の機会を促進する				
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
	9,211						9,211
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
教科書の全面改訂に伴い、令和7年度新規採択中学用教科書に合わせた指導書等を各中学校の教員向けに配付します。 教科指導書等を配付することで、教師の教材研究、授業研究を助け、質の高い授業を実施できるようにします。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	配付学校数		指標②	教科種目数		指標③	
目標値	3校		目標値	16種目		目標値	
実績			実績			実績	
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
学習指導要領改訂で教科書の内容が一新されるため、それぞれの教科の指導書等が必要となっています。				各中学校の教員が、配付した指導書等を用いて教材研究、授業研究を行い、質の高い授業の実施につなげます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
需用費	消耗品費	9,211					

課題対応教員配置事業						当初(骨格)	
大事業 中学校教育振興費			担当 教育部学校教育課学務係				
一般会計 (款) 10 教育費			(項) 3 中学校費		(目) 2 教育振興費		
基本構想	テーマ別目標像		1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち				
	基本方針		1. 子どもの権利を守り、多様な子どもの居場所や主体的な参加の機会を促進する				
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
	12,426		509				11,917
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
生徒一人ひとりに合ったきめ細かな学習及び生活面の指導を実施するため、市内中学校に、課題対応教員を配置することで指導体制の充実を図ります。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	課題対応教員配置人数	指標②		指標③			
目標値	3名	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
不登校・いじめの発生件数や特別な支援が必要な生徒数の増加への対応や、学力低下や格差に対する対応が必要となっています。				不登校や問題行動への早期対応が重大事態の発生件数の減少につながり、配慮を要する生徒への細やかな対応が個性や能力を伸ばすことが期待されます。 また、課題別・習熟度別学習によって、個に応じた学習指導を行うことで学力向上が見込まれるほか、少人数指導の中で生徒ひとりあたりの発言・活躍の機会が増加し、新しい時代に求められる資質・能力を育て、担任教員の負担軽減により生徒と向き合う時間が確保され、より細やかな指導が可能になります。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
報酬	会計年度任用職報酬	7,333					
職員手当等	期末手当	1,518					
職員手当等	勤勉手当	1,339					
共済費	共済組合負担金	799					
共済費	厚生年金保険料	1,025					
共済費	雇用保険料	121					
共済費	労災保険料	35					
旅費	会計年度任用職員費用弁償	256					

津屋崎中学校整備改修事業						当初(骨格)	
大事業 中学校校舎施設整備事業費			担当 教育部教育総務課教育施設係				
一般会計 (款) 10 教育費			(項) 3 中学校費		(目) 3 学校建設費		
基本構想	テーマ別目標像		1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち				
	基本方針		1. 子どもの権利を守り、多様な子どもの居場所や主体的な参加の機会を促進する				
	分野別計画等		福津市教育総合計画				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
11,209	49,984				26,900		23,084
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
令和10年度以降、新設小学校を卒業する児童は、津屋崎中学校に進学することとなるため、生徒数が増加する見込みです。 そこで、増加する生徒数に対応できる校舎の増築や必要な諸教室の整備を進めていきます。 令和7年度は基本設計及び実施設計業務を行います。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	基本設計及び実施設計業務数	指標②		指標③			
目標値	1件	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
津屋崎中学校の生徒数の増加に合わせて、校舎の増築を計画的に実施する必要があります。				津屋崎中学校増築の基本設計により、総事業費や全体計画を整理し、実施設計に基づき、令和8年度以降の増築工事を進めることができます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
委託料	中学校工事設計委託料	49,984					

中学校トイレ洋式化事業						当初(骨格)		
大事業 中学校校舎施設整備事業費			担当 教育部教育総務課教育施設係					
一般会計 (款) 10 教育費			(項) 3 中学校費		(目) 3 学校建設費			
基本構想	テーマ別目標像		1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち					
	基本方針		1. 子どもの権利を守り、多様な子どもの居場所や主体的な参加の機会を促進する					
	分野別計画等		福津市教育総合計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						(単位:千円)
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源	
80,916	70,485	20,862		12,500	37,100		23	
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)								
市内学校施設には、和式便器や湿式床のトイレがあります。トイレの衛生環境改善に、和式便器の洋式化、湿式床の乾式化が非常に有効とされています。 本事業は、令和3年度から計画的に学校施設のトイレの衛生環境改善に取り組んできたもので、令和7年度においては、津屋崎中学校の第2期の改修を実施します。								
事業の達成度を測る指標								
指標①	改修実施中学校数		指標②			指標③		
目標値	1校		目標値			目標値		
実績			実績			実績		
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)				
計画的に改修を行い、課題としていたトイレの和式便器や湿式の状態の改善が進んでいます。しかし、少数ながら和式や老朽化した設備があるため、今後も計画的に維持管理を実施していく必要があります。				和式便器を洋式便器へ、湿式の床を乾式の床へ改修することにより、生徒の使いやすさに加えて、衛生面の向上も図ることができます。				
事業費の内訳 (単位:千円)								
科目等	内容		金額	科目等	内容		金額	
工事請負費	中学校改修工事費		70,485					

[illegible]

医療的ケア児保育支援事業						当初(骨格)	
大事業 保育一般管理費			担当		こども家庭部こども課子育て支援係		
一般会計		(款) 3 民生費	(項) 2 児童福祉費		(目) 3 保育園費		
基本構想	テーマ別目標像	1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち					
	基本方針	2. 子育て中の親を支援する環境を充実させる					
	分野別計画等	福津市こども計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源
9,548	9,923		7,408				2,515
(単位:千円)							
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)							
保護者の就労等により保育が必要な児童であって、医療的ケアを必要とし、集団保育が可能な児童を対象として、看護師等を配置して、保育の実施を行う私立保育所に対し、事業の運営に係る補助金を交付します。 また、医療的ケアが必要な児童を受け入れている公立保育所の看護師等の配置時間を増やし、医療的ケアが必要な児童が保育を受けられる体制を整備します。 公立保育所では、現在も医療的ケア児を受け入れています。私立保育所においても医療的ケア児の受け入れをしなければ医療的ケア児の保育ニーズに対応しきれないため、看護師の配置が可能な私立認可保育所に補助金を交付し、医療的ケア児の受け入れを行います。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	受入児童数	指標②	補助金交付私立保育所数	指標③			
目標値	5人	目標値	1か所	目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)			
令和3年6月に医療的ケア児支援法が成立、9月施行により、地方自治体の医療的ケア児への支援が責務となり、医療的ケア児の受け入れに向けて支援体制を拡充していく必要があります。				看護師等の配置により、医療的ケアを行いながらの保育を可能にし、医療的ケア児を子育てする家族の負担軽減・医療的ケア児の健やかな成長を図るとともに、その家族の離職を防止します。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
給料	会計年度任用職	3,177					
職員手当等	通勤手当	51					
職員手当等	時間外手当	9					
職員手当等	期末手当	722					
職員手当等	勤勉手当	637					
職員手当等	地域手当	286					
共済費	共済組合負担金	1,059					
負担金・補助及び交付金	退職手当組合負担金	382					
負担金・補助及び交付金	医療的ケア児保育支援補助金	3,600					

学童保育所管理運営事業						当初(骨格)	
大事業 学童保育所管理運営費			担当	こども家庭部こども課こどもの国推進係			
一般会計		(款) 3 民生費	(項) 2 児童福祉費	(目) 4 学童保育所費			
基本構想	テーマ別目標像	1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち					
	基本方針	2. 子育て中の親を支援する環境を充実させる					
	分野別計画等	福津市こども計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					(単位:千円)
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源 一般財源	
116,118	123,556	37,224	37,782			9,918 38,632	
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
学童保育所事業（放課後児童健全育成事業）は、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後等に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図るものです。学童保育所の運営については、8施設（20クラス）の内、4施設を指定管理、4施設を業務委託により実施します。各事業者との協定書及び契約の締結の他、運営に関する報告や相談、公的な調査に関する照会など、随時、連携を行い、運営の適正化を図ります。 また、令和7年度は、勝浦小学校学童保育所の令和8年度から令和10年度までの運営の業務委託に関するプロポーザル方式での受注者の公募・契約締結、神興東小学校学童保育所・上西郷小学校学童保育所の令和8年度から令和11年度までの運営の指定管理事業者の公募・協定締結を実施予定です。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	学童保育所待機児童数（年度末）	指標②	指定管理事業者の公募実施件数	指標③	業務委託先の公募実施件数		
目標値	0人	目標値	1件	目標値	1件		
実績		実績		実績			
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
福津市内では大規模な宅地開発、共働き世帯の増加や小学校児童数の増加に伴い、学童利用者数も増加しています。そのため、一部の学童保育所については、年度当初において待機児童が発生しています。				学童保育所の運営について、指定管理及び業務委託により、民間事業者等が実施することで、質の高いサービスを提供し、利用児童の健全な育ちを支援することができます。また、放課後児童支援員の人員配置等、サービスの提供体制を確保できるため、各学童保育所における利用児童の受け入れをより柔軟に対応することができます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
旅費	普通旅費	12					
需用費	電気使用料	610					
需用費	水道使用料	32					
需用費	物品修繕料	138					
役務費	通信運搬費	267					
役務費	公有物件災害共済掛金	127					
委託料	障害児支援業務委託料	7,041					
委託料	学童保育運営委託料	28,523					
委託料	学童保育所指定管理料	86,586					
備品購入費	室内調度器具雑品購入費	220					

[illegible]

地域子育て支援センター事業						当初(骨格)		
大事業		地域子育て支援センター事業費		担当	こども家庭部こども課こどもの国推進係			
一般会計		(款)	3 民生費	(項)	2 児童福祉費	(目)	6 FUCSTA (フクスタ) 事業費	
基本構想	テーマ別目標像		1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち					
	基本方針		2. 子育て中の親を支援する環境を充実させる					
	分野別計画等		福津市こども計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源	(単位:千円)
9,216	10,113	3,246	3,246				3,621	
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）								
子育て支援センター「なかよし」を中心に、健やかな児童の成長につながるような、さまざまな取り組みを行います。なかよしルームでは、安全面・衛生面に配慮し、親子が安心して遊び、交流し、学べる場所を提供します。また、子育て支援・子育て情報・子育てに関する講座や子育て相談などを他課と連携して行います。								
事業の達成度を測る指標								
指標①	講座回数と参加者数		指標②	出張子育てサロン実施回数		指標③		
目標値	24回で260人（7割以上）		目標値	年3回		目標値		
実績			実績			実績		
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）				
なかよしゆうびんや広報紙、ホームページ等での情報発信が重要です。なかよしルームに遊びに来た保護者に講座等の内容を説明することなどで参加につながっているため、今後も声掛けが必要です。				こどもと保護者が遊ぶ「なかよしルーム」でスタッフと話をしたり、保護者同士が交流することで、悩みを軽減し、子育ての情報を得る事ができます。講座に参加して専門家の話を聞くことで、子育てについて学ぶことができます。				
事業費の内訳								
(単位:千円)								
科目等	内容		金額	科目等	内容		金額	
報酬	会計年度任用職報酬		9,103	需用費	医薬材料費		7	
共済費	労災保険料		32	役務費	通信運搬費		108	
報償費	講師謝金		146	役務費	クリーニング料		48	
旅費	会計年度任用職員費用弁償		454	使用料及び賃借料	ファックス・コピー機賃借料		6	
旅費	普通旅費		2					
需用費	消耗品費		113					
需用費	事務用品費		32					
需用費	管理用品費		12					
需用費	保健衛生用品費		30					
需用費	事務機器修繕料		20					

ファミリー・サポート・センター事業						当初(骨格)		
大事業		ファミリー・サポート・センター事業費		担当	こども家庭部こども課こどもの国推進係			
一般会計		(款)	3 民生費	(項)	2 児童福祉費	(目)	6 FUCSTA (フクスタ) 事業費	
基本構想	テーマ別目標像		1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち					
	基本方針		2. 子育て中の親を支援する環境を充実させる					
	分野別計画等		福津市こども計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						(単位:千円)
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源	
4,183	4,307	1,436	1,436				1,435	
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）								
育児の援助を受けたい人(おねがい会員)と育児の援助を行いたい人(まかせて会員)を登録し、会員同士の子育て援助活動を支援します。会員の募集、講習会の開催、まかせて会員とおねがい会員の事前打ち合わせ、会員間の援助活動の調整を行います。 ファミリー・サポート・センターの供給体制の確保と把握のため、まかせて会員の状況調査（継続意思の確認等）を実施します。								
事業の達成度を測る指標								
指標①	まかせて会員数(うち新規会員数)		指標②	広報紙掲載回数		指標③	まかせて会員の状況調査回数	
目標値	85名(うち8名)		目標値	年5回		目標値	年1回	
実績			実績			実績		
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）				
年々、おねがい会員が増加し、それに伴って活動件数が増えています。現時点では対応ができていますが、今後も子育て支援の要望に対応できるよう、まかせて会員の増加に努める必要があります。				援助を受けたい人（おねがい会員）と育児の援助を行いたい人（まかせて会員）が行う相互援助活動を実施することにより、地域全体で子育てを支援する基盤ができます。				
事業費の内訳								
(単位:千円)								
科目等	内容		金額	科目等	内容		金額	
報酬	会計年度任用職報酬		2,428	需用費	事務用品費		35	
職員手当等	期末手当		506	役務費	通信運搬費		60	
職員手当等	勤勉手当		447	役務費	傷害保険料		91	
共済費	共済組合負担金		249					
共済費	厚生年金保険料		319					
共済費	雇用保険料		40					
共済費	労災保険料		12					
報償費	講師謝金		65					
旅費	会計年度任用職員費用弁償		53					
旅費	普通旅費		2					

[illegible]

[illegible]

育児相談事業					当初(骨格)		
大事業		母子相談事業費		担当	こども家庭部子育て世代包括支援課保健指導係		
一般会計		(款)	4 衛生費	(項)	1 保健衛生費	(目)	2 予防費
基本構想	テーマ別目標像	1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち					
	基本方針	2. 子育て中の親を支援する環境を充実させる					
	分野別計画等	福津市こども計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					(単位:千円)
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	
727	747						747
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
さまざまな育児の悩みや心配事に関して、専門職（保健師、助産師、栄養士、作業療法士、理学療法士、臨床心理士、言語聴覚士）に相談できる機会を設けることで、育児不安の軽減や保護者の孤立化防止を図ります。なお、ホームページ及び子育て支援アプリによる周知のほか、7か月児育児相談及び2歳児育児相談は、対象月齢の保護者全員への個別案内も実施します。 離乳食教室、7か月児育児相談、すくすく相談、運動発達相談、2歳児育児相談（ことば相談）							
事業の達成度を測る指標							
指標①	参加者数		指標②	育児不安が軽減したと感じた人の割合		指標③	
目標値	402人		目標値	参加者の80%		目標値	
実績			実績			実績	
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
各相談会において、定員超過等の事情により相談に参加できなかった方には、地区担当保健師が個別に対応し、きめ細やかに寄り添いながら育児不安の解消につなげていく必要があります。また、参加者にとって育児不安の軽減につながる事業内容となっているかどうか、参加者アンケートをとり、育児不安が軽減したか等を確認しながら、ニーズに合わせた柔軟な事業展開が求められています。				事前予約によって相談時間を確保し、保護者が専門職に相談しながら、一緒に考えていくことで、安心して子育てができる相談体制を構築します。また、多職種の専門職が連携して対象者と関わることで、多角的な視点からの切れ目ない支援につなげます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額	科目等	内容
報償費	協力者謝金	566					
旅費	普通旅費	8					
需用費	消耗品費	38					
需用費	印刷製本費	12					
役務費	通信運搬費	123					

地域学校協働活動事業					当初(骨格)		
大事業		コミュニティ・スクール推進事業費		担当	教育部学校教育課教育指導係		
一般会計		(款)	10 教育費	(項)	1 教育総務費	(目)	2 事務局費
基本構想	テーマ別目標像	1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち					
	基本方針	3. 豊かな体験を育み、社会に開かれた教育を推進する					
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					(単位:千円)
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	
2,839	2,839		1,852				987
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)							
市内の全小中学校は学校運営協議会を設置するコミュニティ・スクールとなっています。学校・家庭・地域が連携・協働してこどもたちの学びや育ちを支える教育活動を、地域学校協働活動により推進しています。 地域学校協働活動は、学校運営協議会と両輪をなす活動であり、地域コーディネーター・統括地域コーディネーターを中心に学校と地域の関わりの機能化や持続性を高めることとしています。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	コーディネーターの配置数	指標②	コーディネーターの活動回数	指標③			
目標値	30名	目標値	600回	目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)			
学校・家庭・地域が連携・協働してこどもたちの学びや育ちを支える教育活動を推進する必要があります。				地域コーディネーター・統括コーディネーターの活動により、学校・家庭・地域が連携・協働してこどもたちの学びや育ちを支える教育活動が推進されます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額		科目等	内容	金額	
報償費	講師謝金	24					
報償費	協力者謝金	2,765					
需用費	事務用品費	50					

地域クラブ移行実証事業						当初(骨格)	
大事業 社会教育総務一般管理費			担当 教育部郷育推進課スポーツ文化振興係				
一般会計 (款) 10 教育費			(項) 6 社会教育費		(目) 1 社会教育総務費		
基本 構想	テーマ別目標像	1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち					
	基本方針	3. 豊かな体験を育み、社会に開かれた教育を推進する					
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源
	9,864		4,236				5,628
(単位:千円)							
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)							
休日の部活動の地域クラブへの移行に向け、市認定地域クラブの設立、指導者の確保・養成、クラブ参加費用負担への支援に関する実証事業を実施し、こどもたちが地域で継続してスポーツに親しめる環境を整備します。 〈学校部活動の地域移行の背景〉 少子化の影響で学校部活動の存続が厳しい状況にある中、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実できるよう、国は部活動のあり方を検討するよう自治体に求めています。令和7年度までを改革推進期間、令和13年度までを改革実行期間として学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備を進める必要があります。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	市認定地域クラブ数	指標②		指標③			
目標値	31クラブ	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)			
本市において各中学校の部活動加入生徒数は多く、全国的にみられるような存続の危機に陥っている部活動はほとんどありませんが、生徒達が希望する活動を主体的に選択できる環境とはいえません。また部活動の地域展開に関する生徒、保護者、教職員等関係者の理解が深まっています。				担当コーディネーターを中心に、生徒、保護者、教職員等へ事業の普及啓発・理解を促進することで、部活動の地域展開を進めていくことができます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
報酬	会計年度任用職報酬	4,019					
共済費	労災保険料	15					
報償費	講師謝金	595					
報償費	指導者謝金	4,660					
報償費	協力者謝金	240					
旅費	会計年度任用職員費用弁償	202					
需用費	消耗品費	50					
需用費	印刷製本費	83					

郷づくり交付金事業						当初(骨格)	
大 事業 郷づくり推進事業費				担 当	市民共働部地域コミュニティ課郷づくり支援係		
一般会計		(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	12 地域づくり費
基本 構想	テーマ別目標像		2. 地域自治：人がつながり活躍する共助と共働のまち				
	基本方針		1. 郷づくりによる地域自治の推進を支援する				
	分野別計画等		福津市郷づくり基本構想				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					(単位:千円)
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	
138,320	141,984						141,984
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
交付金は平成26年度からの新算定基準の導入と合わせて、それまで別々に交付していた「自治会交付金」と「郷づくり推進事業交付金」を一本化し、各郷づくり推進協議会に一括して交付し、事業内容や予算配分が決定できる地域予算制度に移行しました。これにより、各郷づくり推進協議会と構成自治会との協議により予算を配分することとしました。 令和7年度は、物価上昇や人件費高騰に伴い、専任事務局員雇用経費および郷づくりホームページ委託料を増額します。また、神興地域の新規自治会（手光2区）設立に伴い、基礎事業及び自主事業分を追加交付します。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	支援する郷づくり推進協議会数		指標②	支援する自治会数		指標③	
目標値	8協議会		目標値	103自治会		目標値	
実績			実績			実績	
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
平成26年度に地域予算制度が始まって以降、地域を取り巻く社会状況が刻々と変化してします。特に平成30年度以降、急激な人口・世帯の増加を反映した算定方法の根本的な見直しを実施しておらず、こうした変化に伴う地域予算制度のあり方や交付金算定基準を、引き続き検証・見直していくことが課題となっています。				地域予算制度のもと郷づくり推進事業交付金を交付することにより、地域の実情に応じた地域自治活動の円滑な実施につながります。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容		金額	科目等	内容		金額
旅費	普通旅費		10				
需用費	事務用品費		51				
役務費	通信運搬費		17				
負担金・補助及び交付金	郷づくり交付金		141,906				

[illegible]

住みよいまちづくり推進企画活動補助事業						当初(骨格)		
大事業		住みよいまちづくり推進企画活動支援事業費		担当	市民共働部地域コミュニティ課市民共働推進係			
一般会計		(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費	
基本構想	テーマ別目標像		2. 地域自治：人がつながり活躍する共助と共働のまち					
	基本方針		3. さまざまな個人や団体間の共働を推進する					
	分野別計画等							
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						(単位:千円)
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源	
1,926	1,926						1,926	
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)								
本事業は、市民参画と共働による住みよいまちづくりを推進するため、まちづくり基本構想の実現に向けて、市民活動を行う又は行おうとするグループから提案された企画活動に対し、補助金を交付するものです。グループの活動実績や提案する企画活動に合わせたコース(チャレンジコース、ステップアップコース)を設定し、運用します。 補助期間における企画活動を通じて、グループが公益力、共働力及び組織力を豊かにし、補助終了後も継続して市民活動を実施するグループとなることを目指し、多様な手法を組み合わせた伴走支援を行います。支援として、有識者・実践者等で構成する審査会からの専門的なアドバイス、交付グループ同士での交流機会の提供、企画活動ごとに設定した市関係部署との連携、「市未来共創センター キッカケラボ」による活動支援などに取り組めます。また交付グループに対し、定期ヒアリングを実施し、グループのニーズに合わせた伴走支援をするとともに、事業に対する意見をもらい、事業の見直しを図ります。								
事業の達成度を測る指標								
指標①	交付グループ数		指標②	継続グループ数(終了後)		指標③		
目標値	8グループ		目標値	2グループ		目標値		
実績			実績			実績		
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)				
市民参画と共働による住みよいまちづくりを推進するための事業として、課題が2点あります。 1点目は、まちづくりへ参画する入口として、提案するグループが参画しやすい、したくなる事業となっているかという点です。事業認知度向上に加え、交付グループをはじめ、市民意見を反映し、随時事業設計を見直す必要があります。 2点目は、補助終了後、グループの継続した市民活動へつなぐ支援ができていくかという点です。補助期間中及び終了後の伴走支援を強化する必要があると補助金審査員等から意見されています。				市民参画と共働による住みよいまちづくりの推進につながります。 交付グループの活動への伴走支援から、グループの市民活動を継続する力(公益力・組織力・共働力)が豊かになり、交付終了後の活動継続につながることが期待されます。また、企画活動ごとの関係部署設定は、市の共働力向上につながり、共働によるまちづくりの可能性が広がります。さらに、交付グループをはじめとした市民等から、事業への意見も聞き取ることによって、多様なグループが参画しやすい事業改善につながります。				
事業費の内訳 (単位:千円)								
科目等	内容		金額	科目等	内容		金額	
報償費	指導者謝金		44					
報償費	協力者謝金		82					
負担金・補助及び交付金	住みよいまちづくり推進企画活動補助金		1,800					

市民活動推進事業						当初(骨格)	
大事業 共創のまちづくり推進事業費			担当	市民共働部地域コミュニティ課市民共働推進係			
一般会計		(款) 2 総務費	(項) 1 総務管理費	(目) 6 企画費			
基本構想	テーマ別目標像	2. 地域自治：人がつながり活躍する共助と共働のまち					
	基本方針	3. さまざまな個人や団体間の共働を推進する					
	分野別計画等	福津市まち・ひと・しごと創生総合戦略					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					(単位:千円)
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源 一般財源	
15,146	10,607	5,177				5,430	
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
本事業では、市内で市民活動をする又はしようとする主体が集い、関係性を深め、新たな可能性を創り出すプラットフォーム「市未来共創センター キッカケラボ(以下「ラボ」という。)」の運営に取り組み、産学官民の多様な主体による共創のまちづくりの実現を目指します。 行政と民間事業者が連携・共働し、官民双方の視点を持った「公民連携型の運営体制」で、福津市未来共創センター条例第5条に示す業務を具体化した「実施プログラム（管理・情報・事業の3部門に分けて設定）」に取組みます。 令和7年度は、令和4～6年度に構築した「公民連携型の運営体制」と「実施プログラム」、そして市独自の担い手育成プログラム「場づくりファシリテーター実践塾BA-School」の本格実施初年となります。プログラムを有機的に動かすことで、取組の効果向上を図ります。また広報戦略に基づく情報発信に取組み、事業の認知度向上、事業への理解者・共感者拡大を図ります。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	ラボ関係人口数		指標②	ラボ登録団体数		指標③	相談対応数
目標値	4,900人		目標値	95団体		目標値	240件
実績			実績			実績	
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
市民活動における持続性の視点から、活動者の固定化、担い手不足は大きな課題です。 幸せのまちづくりラボ（仮称）実施方針に示す「まちづくりへの新たな入口」「活動主体の連携相手との出会いの場」「情報の拠点」の3機能を持つ、市民活動の支援拠点が有効に動き出すことで、課題解決が期待できると市民、団体等から声が挙がっています。また、事業効果を高める上で、ラボの認知度向上、事業への理解者・共感者の拡大が課題となっています。				ラボが多岐分野の市民活動に関する情報の拠点、まちづくりへの新たな入口となることで、産学官民の多様な主体が活躍しやすいまちの実現につながります。 また、活動主体の分野や属性を越え、関係性を深めることのできる機会の常態化により、新たな市民活動や共働等が生まれやすい環境が醸成され、持続性の高い取組の輪が広がることが期待できます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容		金額	科目等	内容		金額
旅費	普通旅費		5				
需用費	事務用品費		30				
役務費	通信運搬費		60				
委託料	託児保育委託料		105				
委託料	共働による未来創造支援業務委託料		10,355				
使用料及び賃借料	駐車場使用料		5				
使用料及び賃借料	電算ソフト使用料		47				

[illegible]

がん検診推進事業						当初(骨格)	
大事業 健診・保健指導事業費			担当 健康福祉部いきいき健康課健康づくり係				
一般会計 (款) 4 衛生費		(項) 1 保健衛生費		(目) 3 健康づくり対策費			
基本構想	テーマ別目標像	3. 健康：健康で生き生きと暮らせるまち					
	基本方針	1. 日常の中での健康づくりの取り組みを推進する					
	分野別計画等	健康ふくつ21計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
1,800	1,710	480					1,230
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)							
がん検診の受診を促進し、がんの早期発見と正しい健康意識を醸成するため「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」に取り組みます。具体的には、子宮頸がん検診は20歳、乳がん検診は40歳の女性を対象者として、検診に係る費用を助成します。対象者に無料クーポン券・検診手帳・受診案内等を個別に送付し、広報・市ホームページ・公式SNSでも周知します。検診は、ふくとぴあ等での集団検診または実施医療機関での個別検診のいずれかで受診することができます。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	(子宮) クーポン受診者数	指標②	(乳) クーポン受診者数	指標③			
目標値	28人	目標値	165人	目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)			
子宮頸がん検診のクーポン券対象の受診者数が少ないことが課題です。				子宮頸がん検診、乳がん検診に係る費用を助成することで、各検診の初受診のきっかけを提供するとともに、がんの早期発見と正しい健康意識を醸成する機会をつくれます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
需用費	消耗品費	12					
需用費	印刷製本費	106					
役務費	通信運搬費	83					
委託料	子宮がん検診委託料	241					
委託料	乳がん検診委託料	1,268					

中央公民館管理運営費						当初(骨格)		
大事業 中央公民館管理運営費			担当		教育部郷育推進課公民館係			
一般会計		(款)	10 教育費	(項)	6 社会教育費	(目)	2 公民館費	
基本構想	テーマ別目標像		3. 健康：健康で生き生きと暮らせるまち					
	基本方針		2. 生涯学習や活躍の機会を通じた生きがいを増進する					
	分野別計画等							
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						(単位:千円)
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源	
15,542	14,553					4,727	9,826	
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）								
市民や市内の社会教育団体をはじめとする各種団体が中央公民館の施設（研修室やホール等）を社会教育の活動の場として、安全に、安心して利用できるよう、中央公民館の運営及び施設管理を行います。								
【施設管理の手順】								
1. 包括管理業務の対象外の施設管理業務について、技術・資格を持つ者に保守点検業務の契約を締結し、施設を問題なく利用できるよう、適切に点検、保守を行います。								
2. 不具合が見つかった場合は、予算の範囲内で、速やかに修繕を行います。								
事業の達成度を測る指標								
指標①	保守点検業務等の実施		指標②			指標③		
目標値	100%		目標値			目標値		
実績			実績			実績		
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）				
市民や市内の社会教育団体をはじめとする各種団体が生涯学習や活躍の機会を通じた生きがいを増進する場を提供する必要があります。 第3次福津市行政改革大綱において、中央公民館の機能の再定義・再配置を行うこととしており、その取り組みを進める必要があります。				市民や市内の社会教育団体をはじめとする各種団体が安全に、安心して活動できる場として、研修室やホール等の利用を提供することができます。				
事業費の内訳 (単位:千円)								
科目等	内容		金額	科目等	内容		金額	
旅費	普通旅費・研修旅費		12	委託料	券売機保守委託料		154	
需用費	事務用品費		90	委託料	陶芸窯保守点検委託料		40	
需用費	管理用品費		792	委託料	舞台機構設備保守点検委託料		1,100	
需用費	燃料代		2,550	委託料	印刷機保守委託料		72	
需用費	電気使用料		7,869	使用料及び賃借料	ファックス・コピー機賃借料		320	
需用費	水道使用料・ガス使用料		846	使用料及び賃借料	AED賃借料		29	
役務費	通信運搬費		270	使用料及び賃借料	玄関マット等賃借料		64	
役務費	ゴミ収集運搬手数料		66	使用料及び賃借料	NHK受信料		25	
役務費	公有物件災害共済掛金		95	負担金・補助及び交付金	職員研修負担金		5	
委託料	ピアノ保守点検委託料		90	負担金・補助及び交付金	福岡県公民館連合会負担金		64	

電子図書館運営事業						当初(骨格)		
大事業 図書館事業費			担当 教育部郷育推進課図書サービス係					
一般会計		(款) 10 教育費	(項) 6 社会教育費		(目) 3 図書館費			
基本構想	テーマ別目標像	3. 健康：健康で生き生きと暮らせるまち						
	基本方針	2. 生涯学習や活躍の機会を通じた生きがいを増進する						
	分野別計画等							
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源	(単位:千円)
2,841	2,540						2,540	
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）								
クラウド型電子図書館サービスで、現在の図書館システムとは別運用になります。電子図書館利用のためのIDとパスワードの登録が完了すると、図書館に来館しなくてもインターネットを通じていつでもどこでも24時間、電子書籍を検索・貸出・返却・予約・閲覧することができます。音声読み上げ機能や文字サイズ拡大機能により、障がい者・高齢者などの読書困難者を補助することもできます。また蔵書スペースが不要で、特に貴重な本の汚破損や紛失の心配もありません。導入時（令和4年2月）に基本図書を揃えた後も、毎年新刊を購入して魅力を維持しています。								
事業の達成度を測る指標								
指標①	電子書籍数	指標②		指標③				
目標値	6,000タイトル	目標値		目標値				
実績		実績		実績				
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）				
学校教育のGIGAスクールの一人1台タブレットの利活用の受け皿としても対応できており、小学校での利用が全体の利用者の多くを占めていますが、児童用の電子書籍が少ないのが課題です。 無期限ライセンス型電子書籍は、比較的人気作品の多い有期限ライセンス型（通常2年）と比べて高価です。				同時利用が可能な「読み放題パック」をより多く購入することにより、学校の授業などで同時利用することができます。 無期限ライセンス型電子書籍と有期限ライセンス型をバランスよく購入することにより、電子書籍数を維持しながらより利用しやすい蔵書環境となります。				
事業費の内訳 (単位:千円)								
科目等	内容	金額		科目等	内容	金額		
使用料及び賃借料	図書館システム使用料	2,540						

複合文化センター改修事業						当初(骨格)	
大事業 複合文化センター管理運営費			担当 教育部郷育推進課スポーツ文化振興係				
一般会計		(款) 10 教育費	(項) 6 社会教育費		(目) 4 文化事業費		
基本構想	テーマ別目標像	3. 健康：健康で生き生きと暮らせるまち					
	基本方針	2. 生涯学習や活躍の機会を通じた生きがいを増進する					
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
572,320	541,882			48,500	493,300		82
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
文化会館は平成5年の開館から30年以上経過し、経年劣化による様々な不具合が生じています。平成21～22年度に改修工事を実施しましたが、その際未実施であったものや経年劣化によるものの改修が必要となっています。令和4年度には修正設計業務委託を行いました。令和7年度は、令和6年度に引き続き文化会館大規模改修工事を実施します。 改修の主な項目は、建築（舞台機構、照明、音響）・昇降機・電気設備・空調設備になります。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	大規模改修工事件数	指標②		指標③			
目標値	1件	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
利用者が安全安心に施設を利用できるという目標に対して、経年劣化による施設の設備不良という課題があります。また、洋式トイレの数が少なく、福祉避難所として十分な設備とはいえません。大規模改修設計に基づき建築設備・機械電気設備等を更新・修繕し施設の質を向上させる必要があります。				舞台機構及び舞台照明、音響設備は不具合が出れば利用を停止せざるを得ないため、そのリスクを未然に防ぐことで安定的な利用を継続できます。 またトイレの洋式化や部屋の機能転換を行うことで、公共施設としての機能強化、利便性の向上が期待できます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額		科目等	内容	金額	
委託料	文化会館改修工事設計監理委託料	15,764					
工事請負費	複合文化センター改修工事費	526,118					

親子野外活動支援事業						当初(骨格)	
大事業 郷育推進一般管理費			担当 教育部郷育推進課青少年活躍推進係				
一般会計 (款) 10 教育費			(項) 6 社会教育費		(目) 6 郷育推進費		
基本構想	テーマ別目標像		3. 健康：健康で生き生きと暮らせるまち				
	基本方針		2. 生涯学習や活躍の機会を通じた生きがいを増進する				
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源
192	300		150				150
(単位:千円)							
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
市の豊かな自然環境や伝統文化に触れる活動を、専門の講師の指導の下、親子で一緒に体験することで、市の魅力を再発見することによる郷土愛の醸成と良好な親子関係の構築が見込まれる事業です。 令和7年度は課題等を踏まえ、年間で9種類15回の活動を計画しています。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	各回申込数／定員		指標②	開催回数		指標③	
目標値	100%		目標値	15回		目標値	
実績			実績			実績	
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
申込者数が定員を大幅に越える講座が複数あり、なるべく多くの人に機会を提供するための方策を検討することが課題です。				市民の郷土愛の醸成や良好な親子関係構築によって、定住促進や地域活動への参加者の増加などが見込まれます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額	科目等	内容
報償費	講師謝金	210					
報償費	協力者謝金	24					
需用費	消耗品費	66					

カレッジ講座運営事業						当初(骨格)	
大事業		カレッジ講座運営事業費		担当	教育部郷育推進課郷育係		
一般会計		(款)	10 教育費	(項)	6 社会教育費	(目)	6 郷育推進費
基本構想	テーマ別目標像	3. 健康：健康で生き生きと暮らせるまち					
	基本方針	2. 生涯学習や活躍の機会を通じた生きがいを増進する					
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源
2,306	1,889					318	1,571
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
ふるさとや地域、自分たちの住んでいる場所である「郷」に学び、育てられ、また「郷」を皆で育てていく取り組みとして、福津市独自の総合学習システム「郷育カレッジ」を開催・運営しています。この事業では、市民を受講生として年間約90～100講座を開催し、受講数に応じて学位を認定し表彰します。また、郷育カレッジの講師やスタッフとしての活動も促進しています。 令和7年度は、郷育カレッジ講座のアーカイブ配信の可能性、および本事業をリカレント教育としての活用可能性について調査研究を行います。それぞれが本郷育カレッジにおいてどのように活用できるかを明らかにし、地域社会における教育機会の拡充と個人のキャリア形成を支援することを目的とします。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	受講満足度		指標②	定員充足率		指標③	
目標値	90%		目標値	85%		目標値	
実績			実績			実績	
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
郷育カレッジの特徴の一つである循環型の総合学習については、受講生が講師になるケースが全体の2割と現状維持にとどまっています。また、地域で活躍する人材の育成という観点からは、ボランティアとしてまちづくりに参画する市民を育てつつ、指導者としても活躍できる人材の育成が求められています。				郷育カレッジでは、福津の「ひと・もの・こと」を題材に、ふるさと、健康福祉、環境、生きがいなどの10分野で講座を開設しています。郷育の理念である「郷によって育てられ、また皆で郷を育てていく姿」が広く市民に浸透することが期待されます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額	科目等	内容
報償費	講師謝金	710					
需用費	消耗品費	116					
需用費	事務用品費	41					
需用費	印刷製本費	954					
需用費	医薬材料費	3					
役務費	広報折込手数料	65					

男女共同参画推進事業						当初(骨格)	
大事業 男女共同参画推進事業費			担当		市民生活部男女共同参画推進室男女共同参画係		
一般会計 (款)		2 総務費 (項)		1 総務管理費 (目)		10 男女共同参画推進事業費	
基本 構想	テーマ別目標像	3. 健康：健康で生き生きと暮らせるまち					
	基本方針	3. すべての人の自己決定や意思尊重を大切にするしくみを育てる					
	分野別計画等	男女共同参画プラン・ふくつ					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
1,400	1,529	30	119				1,380
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)							
男女共同参画を推進するために、市民を対象とした啓発・相談事業を行います。 啓発事業としては、本市が平成15年に「男女共同参画都市宣言」を行ったことを記念しての講演会事業、市内の高校生に向けたデートDV防止講座や、市内の中学1年生を対象とした妊娠・出産の知識の学習事業等の講座、これから初めて出産・育児を控えた夫婦を対象に行う「プレパパ講座」などを実施します。 また、相談事業としては、主に電話相談による「ふくつ女性ホットライン」、女性の人権に関する無料法律相談等を実施します。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	推進事業参加人数	指標②		指標③			
目標値	163人	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)			
啓発事業については、より多くの市民(参加者)に対して啓発・推進するため、ターゲットを明確にし参加者増に繋がる企画の実施と様々な周知方法の活用が課題です。 相談事業については、市民からのニーズが高い「ふくつ女性ホットライン」と「女性のための無料法律相談」は、専門の相談員に委託していますが、当推進室の窓口相談業務として、職員のスキルアップも今後の課題です。				男女共同参画に関する啓発・学習事業や相談事業を実施することで、「第2次男女共同参画プラン・ふくつ」で掲げる福津市における男女共同参画の目指すべき将来像「みんながつくる、希望あふれるまち・ふくつ」が実現されていきます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
報償費	講師謝金	270					
報償費	指導者謝金	20					
報償費	相談員謝金	160					
報償費	記念品代	70					
需用費	消耗品費	50					
委託料	電話相談業務委託料	959					

人権講演会事業						当初(骨格)		
大事業 人権啓発事業費			担当	市民生活部人権政策課人権啓発・市民相談係				
一般会計		(款)	3 民生費	(項)	1 社会福祉費	(目)	3 人権対策費	
基本構想	テーマ別目標像		3. 健康：健康で生き生きと暮らせるまち					
	基本方針		3. すべての人の自己決定や意思尊重を大切にするしくみを育てる					
	分野別計画等							
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源	(単位:千円)
1,402	1,240		606				634	
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）								
毎年12月4日から12月10日までの1週間にわたって行われる人権週間は、人権尊重の大切さについて理解を深めるための啓発週間です。この期間は、世界人権宣言が国連で採択された12月10日（1948年）を記念して設けられました。福津市でもこの期間に、さまざまな人権啓発運動を展開するとともに人権講演会を実施することにより、正しい人権意識の醸成や更なる人権感覚の高揚を図ります。また、小中学生に対しても人権意識を根付かせることを目的として、学校での人権映画上映会を合わせて実施します。								
事業の達成度を測る指標								
指標①	人権講演会参加人数		指標②	映画上映参加人数		指標③		
目標値	350人		目標値	2,000人		目標値		
実績			実績			実績		
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）				
講演会の内容は、専門的すぎると理解が難しいなど、講師の選定や内容のバランスを考慮する必要があります。また、参加者の関心を引きつけるための効果的なPRを行い、参加人数を増やす工夫が必要となっています。				現代社会における多様な人権課題に対して、正しい理解と共感を育み、偏見や差別を減らすために啓発活動は非常に重要です。市民が安心して暮らせる社会を目指すために継続は欠かせません。				
事業費の内訳								
(単位:千円)								
科目等	内容		金額	科目等	内容		金額	
報償費	講師謝金		200					
報償費	協力者謝金		20					
需用費	消耗品費		11					
需用費	印刷製本費		123					
委託料	映画上映委託料		850					
委託料	託児保育委託料		9					
委託料	駐車場整理業務委託料		27					

基幹相談支援センター事業						当初(骨格)	
大事業 障害者地域生活支援事業費			担当 健康福祉部福祉課障がい福祉係				
一般会計 (款) 3 民生費		(項) 1 社会福祉費		(目) 6 障害者福祉費			
基本構想	テーマ別目標像	3. 健康：健康で生き生きと暮らせるまち					
	基本方針	3. すべての人の自己決定や意思尊重を大切にするしくみを育てる					
	分野別計画等	福津市障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
45,658	50,008	18,003	9,001				23,004
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)							
「第3期福津市障がい者計画」に掲げた「障がいのある人もない人も、地域の中で支え合い、共に生きるふくつ」を基本理念としたまちづくりを実現するための事業で、障害者総合支援法第77条の2に基づく、基幹相談支援センターの趣旨に沿った事業です。 基幹相談支援センターは、身体障がいや知的障がい、精神障がい等に関する地域の相談支援の拠点として中核的な役割を担い、主に総合的・専門的な相談支援の実施、地域の相談支援体制の強化の取り組み、地域移行・地域定着の促進の取り組み、権利擁護及び虐待防止の対応等の業務を実施します。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	相談受付件数	指標②		指標③			
目標値	8,500件	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)			
地域生活支援拠点等の整備における「相談」及び「緊急時の受入れ・対応」ができる体制づくりや、精神障がいにも対応した包括的な取組を進めていくこととあわせ、自立支援協議会として位置づけている2市1町障害者地域支援ネットワークのあり方を再構築することが課題です。				基幹相談支援センターは、相談支援の中核的な役割を担う機関となることから、相談支援専門員や社会福祉士等の専門職を配置することにより、総合的な相談窓口が可能となり、効率的・効果的な相談支援につなぐことができます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額		科目等	内容	金額	
委託料	相談支援事業委託料	50,008					

障害者成年後見制度利用支援事業						当初(骨格)	
大事業		障害者地域生活支援事業費		担当	健康福祉部福祉課障がい福祉係		
一般会計		(款)	3 民生費	(項)	1 社会福祉費	(目)	6 障害者福祉費
基本構想	テーマ別目標像	3. 健康：健康で生き生きと暮らせるまち					
	基本方針	3. すべての人の自己決定や意思尊重を大切にするしくみを育てる					
	分野別計画等	福津市障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源
460	460	166	83				211
(単位:千円)							
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)							
「第3期福津市障がい者計画」に掲げた「障がいのある人もない人も、地域の中で支え合い、共に生きるふくつ」を基本理念としたまちづくりを実現するための事業で、障害者総合支援法第77条第1項第4号に基づき、地域生活支援事業の趣旨に沿った事業として実施しています。 成年後見制度の利用が認められる障がい者について、費用や家族環境(申し立てる家族がいない場合や非協力的な場合等)の問題で審判の請求を行えていない者に対して、申立手数料・登記手数料・鑑定費用・後見人報酬等を負担することで成年後見人の選任及び利用継続が可能となり、障がい者の権利擁護を図ることができます。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	成年後見制度利用者数	指標②		指標③			
目標値	1人	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)			
申立費用の助成に対して、市長申立の支援については手続きが煩雑であることとあり、利用開始までにかなりの期間を要するため、事務負担への増加が課題です。				障がいを持つ人の権利擁護の一環として、成年後見人の選任及び利用継続に伴う支援を行うことにより、障がい者の自立した日常生活又は社会生活に繋げることができます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額		科目等	内容	金額	
需用費	消耗品費	5					
役務費	通信運搬費	5					
役務費	鑑定費用等手数料	114					
負担金・補助及び交付金	成年後見人等報酬助成金	336					

障害者ふれあい事業						当初(骨格)	
大事業 障害者自立支援事業費			担当 健康福祉部福祉課障がい福祉係				
一般会計 (款) 3 民生費		(項) 1 社会福祉費		(目) 6 障害者福祉費			
基本構想	テーマ別目標像	3. 健康：健康で生き生きと暮らせるまち					
	基本方針	3. すべての人の自己決定や意思尊重を大切にするしくみを育てる					
	分野別計画等	福津市障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
1,630	1,942	699	349				894
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)							
「第3期福津市障がい者計画」に掲げた「障がいのある人もない人も、地域の中で支え合い、共に生きるふくつ」を基本理念としたまちづくりを実現するための事業で、障害者総合支援法第77条第1項第1号に基づき、地域生活支援事業の趣旨に沿った事業として実施しています。 障がいのある人やその家族と市民との身近なふれあいや交流の場を通じて、市民一人ひとりが障がいに対して考えるきっかけを持つことにより、障がいや障がいのある人への偏見を改め、正しい理解を深めるための啓発の機会を提供します。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	交流イベント参加者数	指標②		指標③			
目標値	200人	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)			
コロナ禍の影響で非対面型のイベントを実施しており、広く「市民との交流」に繋がる工夫が必要です。				障がいの有無にかかわらず、地域社会の一員として安心して生き生きと暮らし続けることができる、心豊かであたたかい共存・共生の福祉文化のまちづくりを実現できます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額		科目等	内容	金額	
委託料	ふれあい交流事業委託料	1,942					

就労支援職業カウンセリング事業						当初(骨格)	
大事業 生活保護一般管理費			担当 健康福祉部福祉課生活支援係				
一般会計		(款) 3 民生費	(項) 3 生活保護費		(目) 1 生活保護費		
基本 構想	テーマ別目標像	3. 健康：健康で生き生きと暮らせるまち					
	基本方針	3. すべての人の自己決定や意思尊重を大切にするしくみを育てる					
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
3,755	3,755	2,816					939
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
生活保護法第4条に規定される補足性の原則に基づき、16～65歳の稼働能力を有する生活保護受給者を対象として、自立・就労支援プログラムを実施することにより、効果的・効率的な就労支援に繋げます。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	就労支援対象者数	指標②	就労決定者数	指標③			
目標値	25人	目標値	10人	目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
生活保護を脱却するためには経済的自立が必要不可欠であり、就労につなげるための支援が効果的ですが、本人の意欲や努力だけでは限界があり、技術的・精神的なサポートを必要としています。				効果的・効率的な就労支援とは、特殊性、専門性が高い業務であることから、キャリアコンサルタント等の専門的な資格を有する職業カウンセラーを配置し、技術的・精神的なサポートによる就労支援により、生活保護受給者の経済的自立の助長を図ることが出来ます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
委託料	就労支援職業カウンセリング事業委託料	3,755					

認知症サポーター育成事業						当初(骨格)	
大事業	地域支援事業費(任意事業)			担当	健康福祉部高齢者サービス課高齢者福祉係		
介護保険事業特別会計 (款)		4 地域支援事業費 (項)		3 包括的支援事業・任意事業費 (目)		2 任意事業費	
基本構想	テーマ別目標像	3. 健康: 健康で生き生きと暮らせるまち					
	基本方針	3. すべての人の自己決定や意思尊重を大切にすくみを育てる					
	分野別計画等	福津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
697	675	260	130	285			
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)							
認知症サポーター養成講座は、市内で働く介護事業所の専門職員、地域福祉に携わる市民等で構成されている認知症セーフティネットワーク蓮華草と協力して取り組んでいます。毎年多くの方に受講して頂いており、小・中学校や、高校、事業所、市民向けに公民館等で講座を実施しています。現在、認知症基本法を加味したテキストの改訂を蓮華草と共に進めています。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	延べ参加者数		指標②			指標③	
目標値	1,000人		目標値			目標値	
実績			実績			実績	
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)			
認知症基本法の施行により新しい認知症観の普及啓発を行う必要があり、既存の認知症サポーター養成講座を受講した人の情報をアップデートしてもらう必要があります。				誰もが人生の最後まで自分らしい暮らしができるよう、認知症を自分のこととして受け止め、地域の輪の中で笑顔と優しさをもって支えあっていくまちをすすめています。この講座の中で、サポーターが地域の中でできる事の”気づき”に繋げ、そういった人が増えることにより地域の中で支えあえるまちにしていけることができます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
報償費	講師謝金	124					
報償費	協力者謝金	74					
報償費	謝礼品代	20					
需用費	消耗品費	150					
需用費	印刷製本費	307					

整備推進事業					当初(骨格)			
大事業 生活支援体制整備事業費			担当		健康福祉部高齢者サービス課高齢者福祉係			
介護保険事業特別会計 (款)		4 地域支援事業費 (項)		3 包括的支援事業・任意事業費 (目)		4 生活支援体制整備事業費		
基本構想	テーマ別目標像	3. 健康：健康で生き生きと暮らせるまち						
	基本方針	3. すべての人の自己決定や意思尊重を大切にすべくを育てる						
	分野別計画等	福津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						(単位:千円)
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源	
17,220	22,962	8,840	4,420	9,702				
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)								
生活支援体制整備事業では、身近な暮らしの中で、日常の生活を送れるように配慮し、見守りができるよう、地域と個人をつなぐ、地域の仕組みを築いていけるように支えていく体制を整備しています。 この地域の支え合いを推進するため、市全域を活動範囲とする第1層生活支援コーディネーター(以下、第1層SC)と郷づくり地域を範囲とする第2層生活支援コーディネーター(以下、第2層SC)を配置しています。 令和7年度より、第1層SCを社会福祉協議会に配置しています。第1層と第2層を共に社会福祉協議会が担うことで、第2層圏域を統括する役割を持ち、連携しやすい環境が整備されるため、市全体・各郷づくり単位の地域課題を共有しながら、生活支援体制整備事業の充実を図ります。								
事業の達成度を測る指標								
指標①	地域交流の場の累計		指標②			指標③		
目標値	130		目標値			目標値		
実績			実績			実績		
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)				
生活支援体制整備事業では、高齢者が身近な暮らしの中で、日常の生活を送れるように配慮し、見守りができるよう、地域と個人をつなぐ、地域の仕組みを築いていけるように支えていく体制を整備しています。第2層圏域の中での地域課題の積み上げができていない為に、市全体とする第1層圏域での課題を見つけることが困難なことが課題として挙げられます。				社会福祉協議会が第1層SCを担うことで、生活支援体制整備事業の充実を図ることができます。具体的に、第1層SCについては、「福津市地域資源の取りまとめと広報」「広域活動団体や企業ネットワークの構築」など社会福祉協議会として培ってきた地域との繋がりを基に市全域を活動圏域とした活動を専門的に行うことができます。その他、第2層SCを統括する役割も担っており、第2層SCと連携しやすい環境を整備し、市全体・各郷づくり単位の地域課題を共有しながら、福津市の支え合いの仕組みを構築することができます。				
事業費の内訳 (単位:千円)								
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額	科目等	内容	金額
報償費	講師謝金	40						
旅費	普通旅費	24						
需用費	事務用品費	10						
委託料	生活支援体制整備事業委託料	22,877						
使用料及び賃借料	駐車場使用料	2						
使用料及び賃借料	有料道路使用料	9						

[illegible]

消防団活動支援事業						当初(骨格)				
大事業 消防団活動事業費			担当		総務部防災安全課安心安全まちづくり係					
一般会計		(款)	9 消防費		(項)	1 消防費		(目)	1 非常備消防費	
基本 構想	テーマ別目標像		4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち							
	基本方針		1. 災害に強いインフラ整備と地域防災力を強化する							
	分野別計画等		福津市地域防災計画							
前年度 予算額		本年度 予算額		財源内訳						(単位:千円)
				国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源	
85,991		73,203						10,337	62,866	
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）										
市民の生命、身体、財産を火災等から守るため、消防団を本部、分団、女性班で構成し、組織しています。消防団員報酬及び費用弁償、活動服やホース等の消防用品購入費や、格納庫の光熱水費等の消防団の活動及び組織運営に必要な経費を支出するものです。										
事業の達成度を測る指標										
指標①	運営する本部数			指標②	組織する分団数			指標③	組織する女性班数	
目標値	1組織			目標値	13分団			目標値	1班	
実績				実績				実績		
【事前】課題（現時点での課題）						【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）				
非常備消防である消防団の組織力維持向上に向けて、訓練等を積極的に実施していくとともに、団員数の更なる増加を図るため加入促進を推進します。						消防団に適切な組織運営及び活動の支援を行うことで、市民の生命、身体及び財産を火災等から保護するための防災力の維持向上を図ります。				
事業費の内訳										
(単位:千円)										
科目等	内容			金額	科目等	内容			金額	
報酬	団長等報酬			13,743	役務費	資格申請手数料			50	
報酬	出動報酬			20,950	役務費	傷害保険料			873	
共済費	消防団員公務災害補償組合負担金			1,043	委託料	消防団員健康診断委託料			1,250	
報償費	消防団退職報奨金			10,337	委託料	無線免許申請業務委託料			137	
旅費	消防団員費用弁償			12,114	使用料及び賃借料	バス借上料			165	
旅費	普通旅費			160	使用料及び賃借料	NHK受信料			197	
需用費	消耗品費			2,000	備品購入費	消防用品購入費			996	
需用費	電気使用料			748	負担金・補助及び交付金	福岡県消防協会負担金			962	
需用費	水道使用料			415	負担金・補助及び交付金	消防団公務災害補償等共済基金負担金			6,951	
役務費	通信運搬費			83	公課費	電波利用料			29	

ポンプ操法大会事業						当初(骨格)	
大事業 消防団活動事業費			担当		総務部防災安全課安心安全まちづくり係		
一般会計		(款) 9 消防費	(項) 1 消防費		(目) 1 非常備消防費		
基本構想	テーマ別目標像	4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち					
	基本方針	1. 災害に強いインフラ整備と地域防災力を強化する					
	分野別計画等	福津市地域防災計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
10,124	3,922						3,922
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)							
市内の安全・安心の実現を担う市消防団が、迅速、確実かつ安全に行動するために定められた消防用機械器具の取り扱い、及び操作の基本を身に着けることができるように、市及び宗像地区消防操法大会の企画・開催を毎年度行っています。消防団員の操法大会出場及び訓練の実施にあたり、必要な消耗品を購入するほか、報酬及び費用弁償等の経費を支出するものです。なお、操法大会は隔年で各分団(第1分団～第11分団)と女性班を出場対象とするよう企画しています。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	操法訓練女性班数	指標②		指標③			
目標値	1班	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)			
消防団活動が迅速、確実かつ安全に行われるためには、各団員が消防用機械器具の取り扱いを確実にする必要があります。 しかしながら、新型コロナウイルス感染症の流行期である令和2～3年度には感染拡大防止のため止むをえず大会及び訓練を中止していましたが、令和4年度から再開し、正しい放水方法や消火活動技術の習熟を図っています。				操法大会への出場を目的として、訓練等を実施することにより、消防団員が消火活動を迅速、確実かつ安全に実施するための技術を習得することが見込まれます。また、操法大会の実施により、市民の安全安心を実現する消防団の活動及び技術の習熟度を、対外的に周知することにもつなげます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
報酬	出動報酬	2,394					
旅費	消防団員費用弁償	1,368					
需用費	消耗品費	160					

[illegible]

地域交通体系協議会事業						当初(骨格)	
大事業 地域交通体系整備事業費			担当 都市整備部都市計画課都市政策係				
一般会計 (款) 2 総務費		(項) 1 総務管理費		(目) 6 企画費			
基本構想	テーマ別目標像	4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち					
	基本方針	2. 暮らしやすさを実感できる生活基盤を整備する					
	分野別計画等	地域公共交通網形成計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
120	120						120
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
地域公共交通の活性化及び再生に関する法律及び道路運送法に基づく法定協議会である市地域交通体系協議会では、福津市における地域公共交通をマネジメントし、地域全体を見渡した総合的な公共交通ネットワークの形成を図ります。 令和7年度は、福津市地域公共交通計画を策定・公表、ふくつミニバスの路線変更及び乗合タクシーの導入について協議を行います。また、西鉄バス「津屋崎～鐘崎線」の福間海岸系統について、目標利用人員等の存続条件を協議します。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	地域公共交通計画の策定	指標②	ミニバス路線変更及び乗合タクシー導入	指標③	西鉄バス存続条件の設定		
目標値	完了	目標値	変更2路線・新規1路線	目標値	完了		
実績		実績		実績			
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
利用者にとって使いやすく持続可能な交通体系を形成するため、令和6年度より地域公共交通計画の策定に着手しています。 西鉄バス「津屋崎～鐘崎線」の福間海岸系統については、条件付きの存続であり、目標利用人員等を設定する必要があります。				福津市地域公共交通計画を公表します。 令和7年10月1日付でふくつミニバスの路線変更及び乗合タクシーを導入します。 西鉄バス「津屋崎～鐘崎線」の福間海岸系統について存続条件を設定し公表します。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
報酬	地域交通体系協議会委員報酬	60					
旅費	地域交通体系協議会委員費用弁償	60					

コミュニティバス運行委託事業						当初(骨格)		
大事業 地域交通体系整備事業費			担当		都市整備部都市計画課都市政策係			
一般会計		(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費	
基本構想	テーマ別目標像		4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち					
	基本方針		2. 暮らしやすさを実感できる生活基盤を整備する					
	分野別計画等		地域公共交通網形成計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						(単位:千円)
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源	
50,482	50,078		2,355				47,723	
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）								
持続可能な公共交通網を形成するため、鉄道や民間路線バス、タクシー等と役割分担し、地域と拠点を結ぶ支線軸として「ふくつミニバス」を5路線（福間周回線、津屋崎線、上西郷線、勝浦線、東福間・若木台線）で運行します。また、バス停や駅から離れた地域に居住する高齢者に対し、タクシー補助を実施します。 令和7年度は西鉄バス「津屋崎～鐘崎線」の一部廃止や、宮若市コミュニティバス「福間線」の廃止に対応するため、10月1日付でふくつミニバスの路線変更やダイヤ改正を行います。								
事業の達成度を測る指標								
指標①	ふくつミニバス利用人数		指標②	ふくつミニバス収支率		指標③		
目標値	85,000人/年		目標値	20%		目標値		
実績			実績			実績		
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）				
ふくつミニバスの利用実績について注視し、より良い路線の構築を図り、運行継続のため収益を改善していく必要があります。				交通弱者が買い物、通院など日常的に利用しやすい持続可能な公共交通網を形成します。				
事業費の内訳 (単位:千円)								
科目等	内容		金額	科目等	内容		金額	
需用費	印刷製本費		606					
役務費	広報折込手数料		65					
委託料	バス運行委託料		47,708					
委託料	バス停設置委託料		172					
委託料	キャッシュレス決済システム改修委託料		814					
使用料及び賃借料	キャッシュレス決済システム使用料		205					
工事請負費	バス停設置工事費		203					
負担金・補助及び交付金	交通空白地タクシー補助金		305					

市道維持事業						当初(骨格)		
大事業 道路維持管理事業費				担当	都市整備部建設課維持管理係			
一般会計		(款)	8 土木費	(項)	2 道路橋梁費	(目)	2 道路維持費	
基本構想	テーマ別目標像		4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち					
	基本方針		2. 暮らしやすさを実感できる生活基盤を整備する					
	分野別計画等							
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						(単位:千円)
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源	
209,227	210,512					13,631	196,881	
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）								
市が管理する道路施設において、経年劣化等により機能が著しく低下したものの修繕を行います。道路陥没、側溝清掃等小規模な案件については地元土木組合との委託契約に基づき、原材料を支給し、委託工事を実施します。アスファルト舗装のうち替え等の修繕が必要な施設で、一定規模を超えたものについては、道路維持工事を実施します。また、道路植栽について、定期的に剪定・草刈作業等を行い、適正な維持管理に努めます。								
事業の達成度を測る指標								
指標①	市道維持工事委託発注件数		指標②	市道維持工事委託箇所数		指標③		
目標値	700件		目標値	30か所		目標値		
実績			実績			実績		
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）				
道路施設の老朽化に伴い、健全な状態に保つための維持工事の継続的な実施が必要です。近年は局地的な豪雨による災害対応だけでなく、自治会からの道路施設に関する要望も増加傾向にあります。また、地域で自主的に実施いただいている除草作業等についても、「高齢化に伴い作業ができない、市が作業してほしい」との声が多くあります。				道路施設の損傷が軽微なうちに修繕等の対応を行うことにより、工事の規模が大きくなることを防ぎ、より多くの箇所の問題解決が図れるようになります。また、同種の要望や修繕等はまとめて発注するなど、経費縮減に努めることで、自治会要望の実施可能件数の向上が図られます。除草作業等については、順次防草対策を進めるとともに、危険箇所は市が実施する等、地域と連携しながら事業を進めます。				
事業費の内訳 (単位:千円)								
科目等	内容		金額		科目等	内容		金額
委託料	市道維持工事委託料		100,000					
委託料	市道植栽等管理委託料		37,512					
工事請負費	市道維持工事費		58,000					
原材料費	市道舗装補修等材料代		15,000					

J R 福間駅周辺施設維持管理事業						当初(骨格)		
大事業 福間駅周辺施設維持管理事業費			担当 都市整備部建設課維持管理係					
一般会計		(款) 8 土木費	(項) 4 都市計画費	(目) 2 街路事業費				
基本構想	テーマ別目標像		4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち					
	基本方針		2. 暮らしやすさを実感できる生活基盤を整備する					
	分野別計画等		福津市都市計画マスタープラン					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					(単位:千円)	
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源		一般財源
9,653	6,894					1,242	5,652	
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）								
駅舎が改築され福間駅周辺施設が供用されてから10年以上が経過しています。施設の老朽化に伴う事故等の発生を抑止するため、包括管理と連携し、定期的な施設の安全点検と、エレベーターやエスカレーター等設備の計画的な修繕を実施することにより、市の玄関口である福間駅の利用者へ安全・安心・快適な駅空間を提供していきます。								
【令和7年度計画】 2号エスカレーター手すりベルト他交換 1号エスカレーターブレーキ組1式取替（包括管理）								
事業の達成度を測る指標								
指標①	要修繕箇所数		指標②			指標③		
目標値	2か所		目標値			目標値		
実績			実績			実績		
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）				
福間駅の改築から10年以上が経過しており、耐用年数を経過した施設が多数存在しています。				耐用年数を経過している部品や、故障歴のある施設の安全点検や修繕、補修を実施することで、事故の未然防止に繋がり、安全性が向上すると共に、利用者も安心して駅を利用することができるようになります。				
事業費の内訳 (単位:千円)								
科目等	内容		金額	科目等	内容		金額	
需用費	管理用品費		170					
需用費	電気使用料		2,772					
需用費	水道使用料		663					
需用費	施設修繕料		3,080					
役務費	通信運搬費		35					
役務費	公有物件災害共済掛金		174					

雨水浸水対策事業						当初(骨格)		
大事業 雨水浸水対策事業費				担当	都市整備部下水道課施設係			
一般会計		(款)	8 土木費	(項)	4 都市計画費	(目)	3 公共下水道費	
基本構想	テーマ別目標像		4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち					
	基本方針		2. 暮らしやすさを実感できる生活基盤を整備する					
	分野別計画等		福津市国土強靱化地域計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						(単位:千円)
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源	
78,808	9,785	4,855					4,930	
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）								
近年全国的に豪雨による浸水等の被害が発生しており、国から雨水対策における計画策定の推進が通知されている状況です。本市においても、市民の安全・安心確保のため、ハード・ソフト両面における総合的な方針を定める必要があります。								
そのため、雨水管理総合計画を策定し、当面～長期にわたり、ハード・ソフト両面の浸水対策を計画的・効果的に進めるため、令和6年度に作成した内水浸水想定区域図や、雨水管理方針で定める浸水要因分析と地域ごとの課題整理の結果を基に、雨水管理総合計画を策定します。								
事業の達成度を測る指標								
指標①	雨水管理総合計画の策定		指標②			指標③		
目標値	完了		目標値			目標値		
実績			実績			実績		
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）				
近年、気候変動に伴う降水量の増加や短時間豪雨の頻発、都市化（宅地化）に伴う浸透面積の減少による雨水の流出量増加により、内水氾濫による浸水被害が発生する危険度が増大しているため、事前防災（浸水対策）を進める必要があります。				雨水管理総合計画を策定することにより、下水道による浸水対策を実施する上で、当面・中期・長期にわたる、下水道による浸水対策を実施すべき区域や目標とする整備水準、施設整備の方針の基本的な事項を定めることができます。				
事業費の内訳								
科目等	内容		金額	科目等	内容		金額	
旅費	普通旅費		6					
役務費	広報折込手数料		65					
委託料	雨水管理総合計画策定業務委託料		9,710					
使用料及び賃借料	有料道路使用料		4					

防犯防災等啓発事業						当初(骨格)	
大事業 市民安全対策費			担当		総務部防災安全課安心安全まちづくり係		
一般会計		(款)	2 総務費		(項)	1 総務管理費 (目) 1 一般管理費	
基本構想	テーマ別目標像		4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち				
	基本方針		3. 社会資本の有効活用と改善の推進体制を整備する				
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					(単位:千円)
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	
2,322	1,879	12					1,867
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
市民や事業者の防犯・防災意識の向上に向けて、地域の安全活動を行う宗像地区防犯協会及び宗像地区防災協会に対し負担金を支出する事で支援を行っています。宗像地区防犯協会においては防犯パトロール活動や見守り活動などを、宗像地区防災協会においては石油販売事業者や塗料販売事業者などの会員向けに危険物取扱者や防火管理者への講習会や研修会などを実施しています。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	防犯協会青パト講習会開催回数		指標②	防災協会講習会開催回数		指標③	
目標値	1回		目標値	5回		目標値	
実績			実績			実績	
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
宗像地域の治安は、近郊と比較しても非常に良い状態で推移していますが、急増するニセ電話詐欺による被害対策や大災害が起きた際の防災協会の会員である各種事業所との連携強化など、防犯・防災意識を多角的な視点から更に高めていく事が必要です。				宗像地区防犯協会及び宗像地区防災協会を支援することで、市民や事業者の防犯・防災意識の向上を図ります。また、見守りバスの貸与や青パト講習の機会提供により、各郷づくりの防犯部会や安全安心部会、青少年指導員等の見守り活動や青色パトロール等の自主活動を支援します。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容		金額	科目等	内容		金額
旅費	会計年度任用職員費用弁償		2				
旅費	普通旅費		25				
負担金・補助及び交付金	宗像地区防災協会負担金		12				
負担金・補助及び交付金	宗像地区防犯協会負担金		1,840				

交通安全対策事業						当初(骨格)	
大事業 交通安全対策事業費				担当	総務部防災安全課安心安全まちづくり係		
一般会計		(款)	8 土木費	(項)	2 道路橋梁費	(目)	3 交通安全施設整備費
基本構想	テーマ別目標像		4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち				
	基本方針		3. 社会資本の有効活用と改善の推進体制を整備する				
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					(単位:千円)
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	
1,327	1,313		160				1,153
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
市長、関係団体、地域、市職員等で組織する交通安全協議会を通じ、市内小中学校の新1年生に向けた交通安全啓発教材等の配布や、自動車免許を自主返納した高齢者へ交通代替手段としてバスカードの贈呈、春秋の街頭指導などを行います。また、負担金を支出している宗像交通安全協会において飲酒運転撲滅活動、高齢者事故防止活動、小学生への交通安全教育活動などを宗像地域一帯で取り組むなど、交通安全思想の普及啓発に向けた事業を行います。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	小中学生への教材配布数		指標②	シルバードライビングスクール開催回数		指標③	
目標値	1,939部		目標値	1回		目標値	
実績			実績			実績	
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
令和6年度の宗像地域における交通人身事故発生件数は160件で、令和5年度と比較して4件減少しています。高齢者（65歳以上）の事故に関しても、令和5年度64件から令和6年度50件と14件減少していますが、こども（中学生以下）の事故に関しては、令和5年の14件から、令和6年には17件と増加しています。こどもの交通事故に関して宗像警察署同様に市も注視し、今後の推移を見守っていく必要があります。				宗像警察署とともに、小中学校をはじめ各自治会やシニアクラブ等に要望があれば、安全講習を実施し、交通安全思想の普及・啓発を行うことで、交通事故発生数の減少に寄与するものです。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容		金額	科目等	内容		金額
報償費	委員謝金		44				
報償費	記念品代		320				
旅費	普通旅費		1				
需用費	消耗品費		147				
委託料	迷惑駐車対策道路警備業務委託料		51				
負担金・補助及び交付金	宗像交通安全協会負担金		702				
負担金・補助及び交付金	交通遺児を支える会補助金		48				

古墳公園史跡等購入事業						当初(骨格)	
大事業 古墳公園建設事業費			担当 教育部文化財課史跡整備係				
一般会計 (款) 10 教育費			(項) 6 社会教育費		(目) 5 文化財保護費		
基本構想	テーマ別目標像	5. 環境保全：自然・歴史・景観などの資源が守られ生かされるまち					
	基本方針	1. 受け継がれてきた自然を守り、育てる					
	分野別計画等	国指定史跡 津屋崎古墳群整備基本計画（第2次新原・奴山古墳群整備計画）					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源
83,337	1,791						1,791
(単位:千円)							
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
国指定史跡津屋崎古墳群を確実に次世代へ継承するために、史跡地の公有化を進めています。令和7年度は、津屋崎古墳群に含まれる新原・奴山古墳群について、令和8年度に公有化予定の個人地（山林：1,095㎡）の地権者と交渉を進め、土地鑑定及び補償算定を進めるとともに土地鑑定額等の説明を行います。国県の補助金を活用しながら、計画的に継続性をもって、地権者と交渉を進めることで早期実現に取り組みます。 また、新原・奴山古墳群の686.22㎡（1筆）の史跡地土地購入について、令和6年度に土地売買等契約を締結しましたが、令和7年度中に所有権移転登記を経て市有地とします。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	公有化率（新原・奴山古墳群）	指標②	公有化率（津屋崎古墳群）	指標③			
目標値	96%	目標値	81%	目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
平成29年2月にイコモスに提出した「新原・奴山古墳群整備行動計画スケジュール」を遵守する必要があるため、計画的かつ早期の公有化が必要です。				令和7年度は、地権者の交渉がある程度進んでいる土地について、土地鑑定及び補償算定と説明を行い、令和8年度に土地売買等契約ができるようになる見込みです。また、令和6年度から繰越した土地購入が完了します。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
旅費	普通旅費	8					
需用費	事務用品費	5					
委託料	水質等検査委託料	469					
委託料	土地鑑定委託料	346					
委託料	用地補償調査委託料	963					

[illegible]

し尿処理施設整備事業						当初(骨格)	
大事業 し尿処理事業費		担当		市民共働部うみがめ課清掃対策係			
一般会計 (款)		4 衛生費 (項)		2 清掃費 (目)		3 し尿処理費	
基本構想	テーマ別目標像	5. 環境保全：自然・歴史・景観などの資源が守られ生かされるまち					
	基本方針	3. 快適な生活環境をつくる					
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
102,798	117,143						117,143
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)							
福津市内における公共下水道への未接続者(市民、事業者等)が排出する生し尿及び浄化槽汚泥について、地方自治法の規定による事務委託により、古賀市海津木苑で適正処理・処分を行います。委託事務である海津木苑の建設及びその周辺の整備に関する事務及び海津木苑の管理及び運営に関する事務に要する経費について古賀市に負担金を拠出します。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	運営費負担する施設数	指標②	駐車場・周辺整備	指標③			
目標値	1施設	目標値	設計業務着手	目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)			
供用が開始された古賀市海津木苑の施設利用等に関しては、引き続き古賀市及び市内の一般廃棄物収集運搬業許可業者等と連絡・調整を行っていく必要があります。 また、市民や学校などに対して施設等啓発を進めていく必要があります。				福津市内で発生するし尿等が古賀市海津木苑で適正に処理されます。周辺整備に関しては、旧処理棟などの施設解体工事中で、令和8年9月までに解体工事が完了する予定です。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額		科目等	内容	金額	
負担金・補助及び交付金	し尿処理施設整備事業負担金	117,143					

環境フォーラム開催事業						当初(骨格)		
大事業		環境保全事業費(共働型)		担当	市民共働部うみがめ課環境づくり係			
一般会計		(款)	4 衛生費	(項)	1 保健衛生費	(目)	6 環境保全対策費	
基本構想	テーマ別目標像	5. 環境保全：自然・歴史・景観などの資源が守られ生かされるまち						
	基本方針	4. 環境を守るための地域共働のしくみをつくる						
	分野別計画等							
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源	
211	200					13	187	
(単位:千円)								
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)								
歴史、文化、自然を守るための環境づくりを実現するために、多くの市民に環境について関心を持ってもらえる場の提供が必要となります。そのため、市民、市民団体、教育機関、事業者と連携し、市内での環境保全活動の取り組みの紹介を中心に展示や体験イベント、ステージイベントを行い、次世代の交流や環境学習の場を提供します。								
事業の達成度を測る指標								
指標①	参加者数		指標②			指標③		
目標値	400人		目標値			目標値		
実績			実績			実績		
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)				
多くの市民に環境について関心を持ってもらえるイベント内容となるよう、展示や体験イベントなどのブースの配置を検討し、限られたスペースを活かす必要があります。				大型商業施設での開催を有効活用し、市民参加型の体験イベントに市民や市外の方々が参加することで、福津市の自然環境に興味を持ってもらえます。				
事業費の内訳 (単位:千円)								
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額	科目等	内容	
報償費	講師謝金	40						
報償費	協力者謝金	40						
報償費	記念品代	40						
需用費	事務用品費	50						
原材料費	教材、教具等材料費	30						

世界遺産保存活用事業						当初(骨格)	
大事業 地方創生事業費			担当 経済産業部観光振興課観光振興係				
一般会計 (款) 2 総務費			(項) 1 総務管理費		(目) 13 地方創生費		
基本構想	テーマ別目標像		7. 観光振興：福津の魅力を生かした持続可能な観光のまち				
	基本方針		1. 国内外の人が何度も訪れたくなる魅力を磨く				
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
1,534	1,370						1,370
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
新原・奴山古墳群を周知・啓発のためにPRグッズを作成したり、古墳展望所の来訪者に対して古墳群の概要や歴史を案内するガイド員を配置して、古墳群の歴史的価値の理解を深めることで、古墳群来訪者の満足度向上と再訪促進を図ります。また、新原・奴山古墳群までの交通利便性向上のため、クーポンの発行によりタクシー料金を補助し、来訪促進を図ります。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	ガイド員による案内者数	指標②		指標③			
目標値	10,000人	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
新原・奴山古墳群の認知度を向上させ、歴史的価値の理解を深めてもらい、古墳群来訪者の満足度向上と再訪促進を図る必要があります。また、古墳群がJR福岡駅から離れた位置にあり、行くための交通手段に課題があります。				新原・奴山古墳群の認知度を向上させ、歴史的価値の理解を深めてもらい、古墳群来訪者の満足度向上と再訪促進に繋げることができます。また、タクシークーポンを発行し、交通の不便さを支援することで古墳群への来訪者増加に繋げることができます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
需用費	消耗品費	70					
需用費	事務用品費	10					
委託料	展望所観光案内業務委託料	858					
委託料	観光交通システム充実化事業委託料	432					

津屋崎地区観光施設整備事業						当初(骨格)	
大事業 観光施設整備事業費			担当 経済産業部観光振興課観光振興係				
一般会計		(款) 7 商工費	(項) 1 商工費		(目) 3 観光費		
基本構想	テーマ別目標像	7. 観光振興：福津の魅力を生かした持続可能な観光のまち					
	基本方針	2. 観光拠点を整備し、観光消費額を拡大する					
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源
8,590	766						766
(単位:千円)							
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）							
旧福津市福祉会館「潮湯の里夕陽館」については、令和6年度に条件付き有償貸与として公募により候補事業者を選定、賃貸借期間を開始し、貸与先事業者は令和8年度中の運営開始に向けて改修等準備を進めています。事業者の運営開始に向け、市が運営していた際に燃料タンク内の腐食や劣化を防止するために残置していた廃油の撤去処理をするものです。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	廃油の撤去処理	指標②		指標③			
目標値	完了	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）			
市が運営していた際に使用していたボイラー用の燃料の残量がある状態でしたが、休館後もその燃料を残置したままの状態となっています。施設の再稼働にあたり、劣化した燃料の撤去・処分を必要があります。				貸与先事業者が、施設や設備の改修等を経て、新たな事業内容により、計画している令和8年度中の運営開始の実現に繋げることができます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
役務費	公有物件災害共済掛金	111					
委託料	廃油等処理業務委託料	655					

行政・観光情報ステーション施設総務費						当初(骨格)		
大事業		行政・観光情報ステーション管理運営費		担当	経済産業部観光振興課観光振興係			
一般会計		(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	3 観光費	
基本構想	テーマ別目標像		7. 観光振興：福津の魅力を生かした持続可能な観光のまち					
	基本方針		2. 観光拠点を整備し、観光消費額を拡大する					
	分野別計画等							
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源	
6,098	6,776						6,776	
(単位:千円)								
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）								
福津市行政・観光情報ステーションの運営は一般社団法人ふくつ観光協会に業務委託しています。ＪＲ福岡駅の改札口の目の前という立地を生かして、行政情報や観光案内などの情報発信拠点となっており、市内外を問わず多くの人に活用してもらうことで、機能を生かした効果的な施設運営を行います。								
事業の達成度を測る指標								
指標①	年間施設来訪者数		指標②			指標③		
目標値	50,000人		目標値			目標値		
実績			実績			実績		
【事前】課題（現時点での課題）				【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）				
駅改札正面という立地を生かして、観光情報ステーションとして、来訪者が市内観光スポットへ周遊することを促進できるよう案内したり、来訪者の更なる利便性や満足度を高める企画や運営に取り組む必要があります。				行政・観光情報ステーションとして、観光情報発信基地としての役割を更に充実させ、市内観光スポットの周遊促進により来訪者の滞在時間を延ばし、市内での消費を拡大させ、観光基本計画に掲げる地域総体産業の活性化に繋げることができます。				
事業費の内訳 (単位:千円)								
科目等	内容		金額	科目等	内容		金額	
委託料	行政・観光情報ステーション窓口業務委託料		6,776					

職員研修事業						当初(骨格)	
大事業 職員管理費			担当	総務部人事秘書課人事係			
一般会計 (款)		2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	1 一般管理費	
基本構想	テーマ別目標像	8. まちづくり計画推進にあたっての基本的な考え方					
	基本方針						
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
4,036	3,891					490	3,401
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)							
まちづくり基本構想に掲げる市の将来像「人も自然も未来につながるまち、福津。」の達成に向け、令和4年度に人材育成基本方針を改定し、新たに、めざす組織像・職員像を定めました。これらの実現には、職員一人ひとりがその職位に応じた役割を認識して能力を向上・発揮し、改善や改革を行いながら効率的・効果的に市政運営を行うことが重要です。職員の資質向上、意識改革、事務の能率向上のため、また、組織マネジメントの強化、人材育成のために、タイムマネジメント、管理職研修、コンプライアンス、人権など様々なテーマで研修を開催するほか、市町村職員研修所を始め市町村アカデミーや国際文化研修所などで開催される階層別や専門的な研修の受講、OJT、人事評価制度等を通じて、組織力・職員力の向上を図ります。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	受講者の満足度	指標②	庁舎内研修の受講率	指標③			
目標値	85%	目標値	95%	目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)			
人材育成基本方針に基づき、一人ひとりの職員の資質向上、意識改革、事務の能率向上のための各研修を実施していますが、めざす組織像・職員像の実現には組織風土の変革が必要です。 また、市民ニーズの多様化・複雑化、人口増加などに伴って業務量が増加傾向にある中で、研修を実施するタイミングや実施時間、実施方法等に配慮を要します。				組織力・職員力が向上し、より効率的・効果的に市政運営ができるようになるとともに、市民サービスの向上や適切な組織マネジメント等による組織の活性化が図られるようになります。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
報償費	講師謝金	160					
旅費	研修旅費	36					
旅費	特別研修旅費	1,135					
需用費	事務用品費	61					
委託料	職員研修業務委託料	1,130					
負担金・補助及び交付金	市町村アカデミー負担金	46					
負担金・補助及び交付金	職員研修所負担金	990					
負担金・補助及び交付金	国際文化アカデミー負担金	109					
負担金・補助及び交付金	職員研修負担金	224					

[illegible]

広報紙発行事業							当初(骨格)			
大事業 広報事業費			担当		総務部人事秘書課広報広聴係					
一般会計		(款)	2 総務費		(項)	1 総務管理費		(目)	2 文書広報費	
基本 構想	テーマ別目標像		8. まちづくり計画推進にあたっての基本的な考え方							
	基本方針									
	分野別計画等									
前年度 予算額		本年度 予算額		特定財源内訳					一般財源	
				国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他	(単位:千円)	
35, 119		31, 863			53			2, 057	29, 753	
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）										
市役所の各部署が発信したい情報及び国や県から依頼された情報、市民が発信したい情報などを広報広聴係が集約し、毎月約28ページの広報紙を発行します。毎号特集を組み、市の施策や市民の活動などを紹介することで市への理解を深めてもらうことはもちろん、市に愛着を持ってもらうことを目的としています。広報紙の配布は、神興東郷づくり地域を除き、民間事業者によるポスティングを実施しています。										
事業の達成度を測る指標										
指標①	広報紙の制作及び配布			指標②				指標③		
目標値	毎月約29, 000部			目標値				目標値		
実績				実績				実績		
【事前】課題（現時点での課題）					【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）					
人口の増加とともに世帯数が増加しているため、発行部数が29, 000部を超えました。限られた紙面の中で有効な情報発信を行うにあたり、内容の精査、ページの効率化を行うなど、発行・配布に係る創意工夫が求められています。					毎月、広報紙を発行する中で、市民のより良い暮らしのための情報発信を推進し、市の施策などの市民理解の促進、イベントや講座への参加促進といった効果が見込まれます。					
事業費の内訳										
(単位:千円)										
科目等	内容			金額	科目等	内容			金額	
報償費	協力者謝金			48						
旅費	普通旅費			14						
需用費	事務用品費			29						
需用費	印刷製本費			17, 356						
需用費	機械器具修繕料			30						
役務費	広報折込手数料			389						
委託料	配送業務委託料			13, 446						
使用料及び賃借料	パソコン賃借料			135						
使用料及び賃借料	電算ソフト使用料			392						
負担金・補助及び交付金	日本広報協会負担金			24						

共働のふるさとづくり寄附金促進事業						当初(骨格)	
大事業		共働のふるさとづくり寄附金事業費		担当	経済産業部商工振興課物産振興係		
一般会計		(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	5 財産管理費
基本構想	テーマ別目標像		8. まちづくり計画推進にあたっての基本的な考え方				
	基本方針						
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					(単位:千円)
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	
335,764	168,441						168,441
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)							
広くふるさと寄附金を募って収入を増加させるとともに、地場産品および市の魅力を発信します。主に市外在住の寄附者に対して、お礼の品として寄附金額の3割以内の地場産品を提供します。ふるさと寄附金事務に関しては、下記の事を行います。 ・募集WEBサイトへの掲載による寄附の受付 ・魅力ある返礼品の拡充及び掲載 ・サイトの充実及び広告PR ・寄附者にお礼状及び受領証明書等を発送 ・市外在住寄附者に対して寄附金額の3割以内の地場産品を提供 ・ワンストップ特例申請受付 これにより、主に市外在住者から寄附をしてもらい、市税を増加させます。また、地場産品を返礼品として提供することで地場産品および市の魅力を発信します。なお、ふるさと納税業務の効果的な運用を行うため、業務を一部委託します。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	寄附件数		指標②	寄附金額		指標③	
目標値	15,000件		目標値	3億円		目標値	
実績			実績			実績	
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)			
ふるさと納税の全国的な傾向として、寄附総額が年々増加している中、本市も改善を重ね令和4年度には約6.4億円の寄附を集めることができたものの、令和5年10月の制度の大幅変更により競争力を失いつつあります。 一方で寄附を伸ばす自治体もあり、二極化がさらに加速している状況です。寄附額の減少を食い止め、増加に転じる対策を打つ必要がありますが、市の産業特性上、地場産品の在庫確保やブランド化が大きな課題となっています。				令和5年度におけるふるさと納税制度の大幅変更により、寄附増加が非常に困難さを増し、令和5年度及び令和6年度の寄附額が減少しましたが、令和7年度では寄附額の回復を目指します。これにより、市税収の維持、地場産品の認知度向上、市の魅力発信を継続することができます。			
事業費の内訳							
(単位:千円)							
科目等	内容		金額	科目等	内容		金額
給料	会計年度任用職		752	委託料	ふるさと納税包括業務委託料		54,217
職員手当等	通勤手当		17	委託料	ふるさと納税業務管理システム保守委託料		528
職員手当等	地域手当		68				
共済費	雇用保険料		10				
報償費	記念品代		105,000				
旅費	普通旅費		88				
需用費	消耗品費		55				
需用費	印刷製本費		1,562				
役務費	通信運搬費		4,144				
役務費	広告料		2,000				

公共施設包括管理事業						当初(骨格)	
大事業 公共施設包括管理事業費			担当	総務部管財課公共施設マネジメント係			
一般会計 (款)		2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	5 財産管理費	
基本構想	テーマ別目標像	8. まちづくり計画推進にあたっての基本的な考え方					
	基本方針						
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
394,714	404,912					21,596	383,316
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)							
令和6年4月より公共施設123か所を対象に包括管理業務委託を開始しました。 専門業者である包括管理事業者は、対象となる公共施設(建物)の保守管理業務全般及び巡回点検を実施し、日々の業務の中で把握したものや随時発生する不具合に対して修繕等の対応を行うことで、公共施設の管理品質の向上及び安全性の確保を図ります。 また、令和7年度は、包括管理業務委託の事業を通して収集・蓄積された建物等の情報を今後の保全に活用するための方策等の検討を別途行います。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	包括管理の導入施設箇所数	指標②		指標③			
目標値	123か所	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)			
公共施設の維持管理については、市として事故等を未然に防ぐ方策を講じる必要がある一方、本市の公共施設(建物)の50%以上が築31年以上経過しており、修繕の必要性は今後益々高まるものと考えられます。 また、老朽化が進むと維持管理に求められる知識経験の要求レベルが高くなるにも関わらず、施設の多くは事務職員が1人で管理を担当しており、人事異動等により維持管理のノウハウの継承が十分行えない場合があるなど、現状のままでは、公共施設の安全性確保の困難さが増していくことが考えられます。				ビル管理の専門業者である包括管理事業者が巡回点検を行うことで、安全性等の現状把握を行います。また、随時発生する不具合について適切な措置を講じることで、公共施設の安全性に係るリスクの低減を図ります。把握した公共施設の現状を基に、予防的対応を含めた各種保全の統一的・計画的な実施に向けて体制を整えます。 修繕や保守管理業務を包括管理事業者と分担することで、施設担当職員の公共施設の維持管理にかかる負担を軽減し、本来専念すべきコア業務や新しい事業・手法に取り組むことができるようになることが期待されます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
旅費	普通旅費	4					
旅費	研修旅費	5					
需用費	事務用品費	10					
委託料	公共施設包括管理保守委託料	295,385					
委託料	公共施設包括管理マネジメント委託料	74,508					
委託料	公共施設修繕委託料	35,000					

戸籍システム更新事業						当初(骨格)	
大事業 電算システム維持管理事業費			担当 経営企画部情報化推進課情報化推進係				
一般会計 (款) 2 総務費		(項) 1 総務管理費		(目) 7 電子計算費			
基本 構想	テーマ別目標像	8. まちづくり計画推進にあたっての基本的な考え方					
	基本方針						
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
2,684	12,425					11,754	671
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)							
令和7年度までに全国の自治体の基幹系システムの20業務を標準化し、ガバメントクラウドに移行することになっています。本更新事業はそのうちの戸籍システムについて移行を行います。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	システムの標準化	指標②		指標③			
目標値	完了	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)			
標準化していない場合は、システムベンダーごとに仕様異なるため、法改正等によりシステム改修が生じた際に時間と費用がかかります。また、互換性がないため業者を変更することが困難です。				システムを標準化することでカスタマイズ(独自仕様)がなくなるため、対象業務については法改正などの対応が迅速に、安価にできることが見込まれます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
委託料	戸籍システム改修委託料	12,425					

健康管理システム更新事業						当初(骨格)		
大事業 電算システム維持管理事業費			担当 経営企画部情報化推進課情報化推進係					
一般会計		(款) 2 総務費	(項) 1 総務管理費		(目) 7 電子計算費			
基本 構想	テーマ別目標像		8. まちづくり計画推進にあたっての基本的な考え方					
	基本方針							
	分野別計画等							
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源	(単位:千円)
4,755	10,410					9,194	1,216	
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)								
令和7年度までに全国の自治体の基幹系システムの20業務を標準化し、ガバメントクラウドに移行することになっています。本更新事業はそのうちの健康管理システムについて移行を行います。								
事業の達成度を測る指標								
指標①	システムの標準化		指標②			指標③		
目標値	完了		目標値			目標値		
実績			実績			実績		
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)				
標準化していない場合は、システムベンダーごとに仕様異なるため、法改正等によりシステム改修が生じた際に時間と費用がかかります。また、互換性がないため業者を変更することが困難です。				システムを標準化することでカスタマイズ(独自仕様)がなくなるため、対象業務については法改正などの対応が迅速に、安価にできることが見込まれます。				
事業費の内訳 (単位:千円)								
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額	科目等	内容	金額
委託料	健康管理システム更新委託料	10,410						

ガバメントクラウド運用事業						当初(骨格)	
大事業 電算システム維持管理事業費			担当		経営企画部情報化推進課情報化推進係		
一般会計 (款) 2 総務費		(項) 1 総務管理費		(目) 7 電子計算費			
基本 構想	テーマ別目標像	8. まちづくり計画推進にあたっての基本的な考え方					
	基本方針						
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)
	67,087					56,826	10,261
事業の内容 (具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)							
国は標準化したシステムのサーバーについて、庁舎に設置するオンプレミスではなく、政府が運営し、よりセキュリティが高いガバメントクラウド環境に移行するとしているため、令和7年度に基幹システム20業務について、移行を実施します。また、それ以外の一部業務についてもガバメントクラウドへの移行を実施します。 ガバメントクラウドに移行することにより、ガバメントクラウドの使用料及び管理料、ガバメントクラウドから県を経由して庁舎までの回線料及び回線管理料が必要になるため、オンプレミスと比較して高額になります。また、使用料についてはドル建てになっており、為替レートによる影響も懸念されます。 ガバメントクラウドにより、18の業務で使っている独自クラウドのサーバー及び通信回線は廃止します。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	ガバメントクラウドへの移行	指標②		指標③			
目標値	完了	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題 (現時点での課題)				【事前】成果 (事業の実施により見込まれる成果)			
令和7年度末までに20業務について、ガバメントクラウドに移行しなくてはならないとされており、遅滞なく移行を完了する必要があります。 移行にあたっては、宗像市と共同で運用している介護審査会のサーバーもあり、自治体間で調整が必要です。				標準システムに移行させることにより、より安全なデータ管理ができるようになります。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額		
役務費	通信運搬費	11,654					
委託料	ネットワーク構築委託料	1,102					
使用料及び賃借料	総合行政システム使用料	1,873					
使用料及び賃借料	ライセンス使用料	52,458					

[illegible]

当初(骨格)

大	事	業	ホームページ管理運営事業費											担	当	総務部人事秘書課広報聴係																																			
一		般		会		計		(		款		2		総		務		費		(		項		1		総		務		管		理		費		(		目		7		電		子		計		算		費	

基本 構想	テーマ別目標像	8. まちづくり計画推進にあたっての基本的な考え方
	基本方針	
	分野別計画等	

前年度 予算額	本年度 予算額	特定財源内訳					一般財源	(単位:千円)
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他		
1,794	1,791					220	1,571	

事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）

市公式ホームページは、大雨や台風などの緊急時に主たる情報発信媒体としての役割があるのももちろん、市民の暮らしに役立ったり、市民が安心できたりするように市内の住民への情報発信ツールとして、また、地域振興や来訪者の増加を図るため、市外の人たちへも福津市の事業や地域・観光情報などの魅力を発信しています。

市役所の各部署がページを作成・更新し、ホームページ管理部署が承認すると市公式ホームページに掲載され、情報発信される仕組みになっています。

事業の達成度を測る指標

指標①	HP簡易アンケート (情報が足りない割合)	指標②	HP簡易アンケート (内容は分かりやすかった割合)	指標③	
目標値	30%以下	目標値	65%以上	目標値	
実績		実績		実績	

【事前】課題（現時点での課題）

令和6年度の簡易アンケートで「情報が足りない」と回答のあった割合は35.9%、「内容は分かりやすかった」と回答のあった割合は59.3%でした。「文章が長い」という意見や、「難しい用語が多い」という意見もあるため、難しい用語を使う際には分かりやすい説明をつけるなど、過不足ない情報発信に努めることが求められています。

【事前】 成果（事業の実施により見込まれる成果）

大雨や台風などの緊急時の情報発信の際に主たる情報発信媒体としての役割を担い、市民の安全・安心に寄与するとともに、市民のより良い暮らしのための情報発信を行い、市民のイベントや講座情報を発信することで参加促進に繋がっています。また、市外の人にも福津市の魅力を発信し、地域振興に繋げ、来訪者が増加することも見込まれます。

事業費の内訳

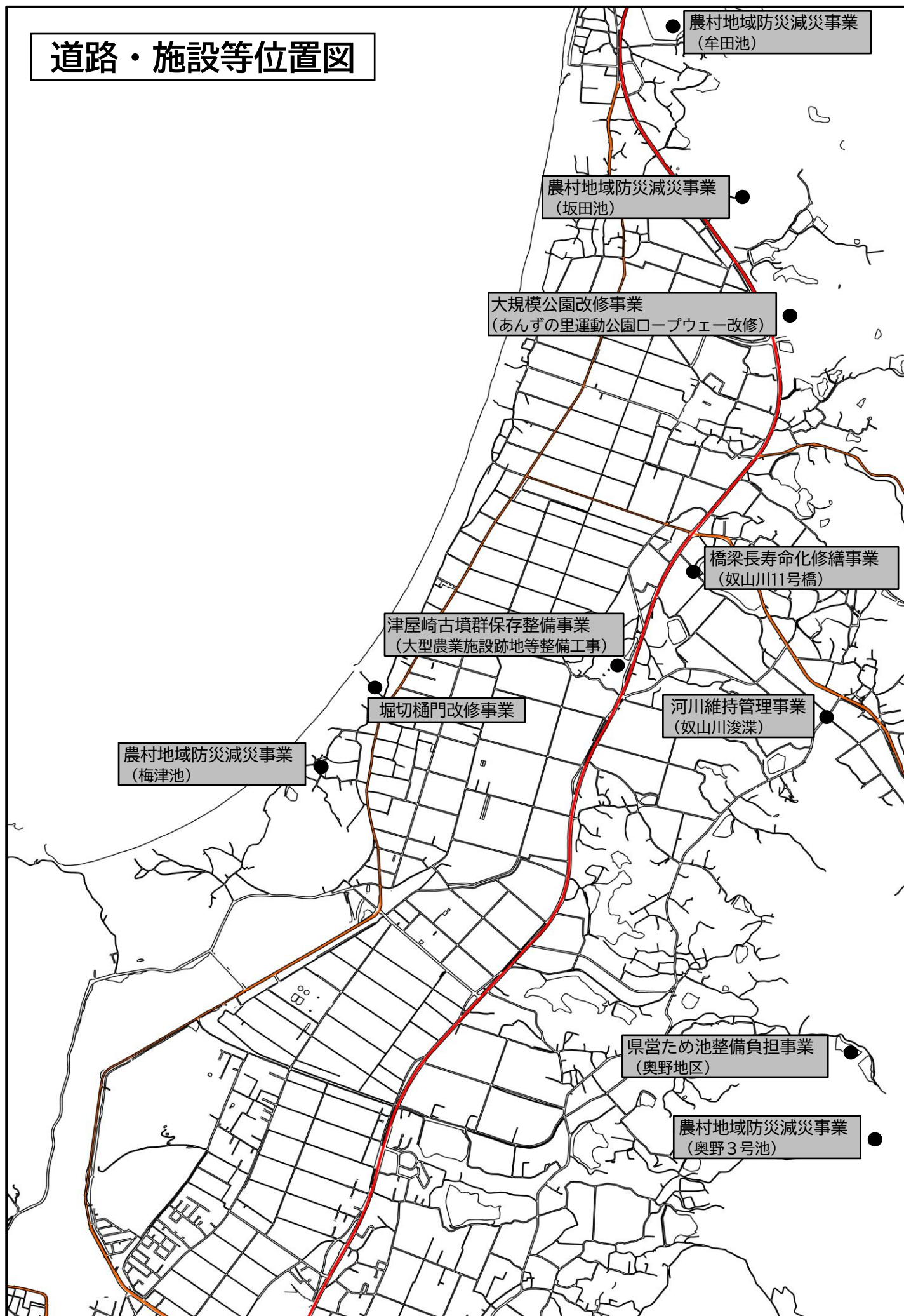
(単位:千円)

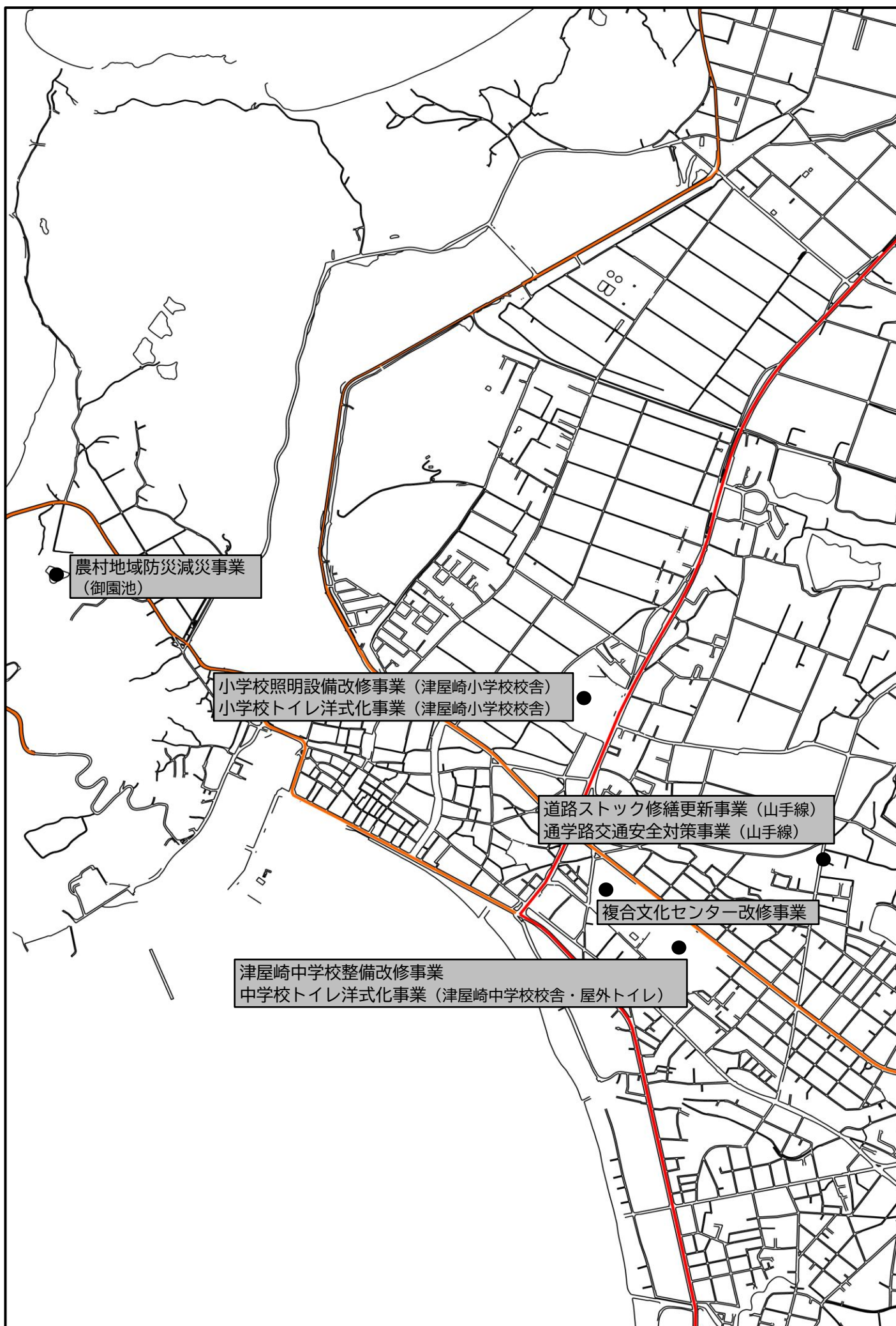
[illegible]

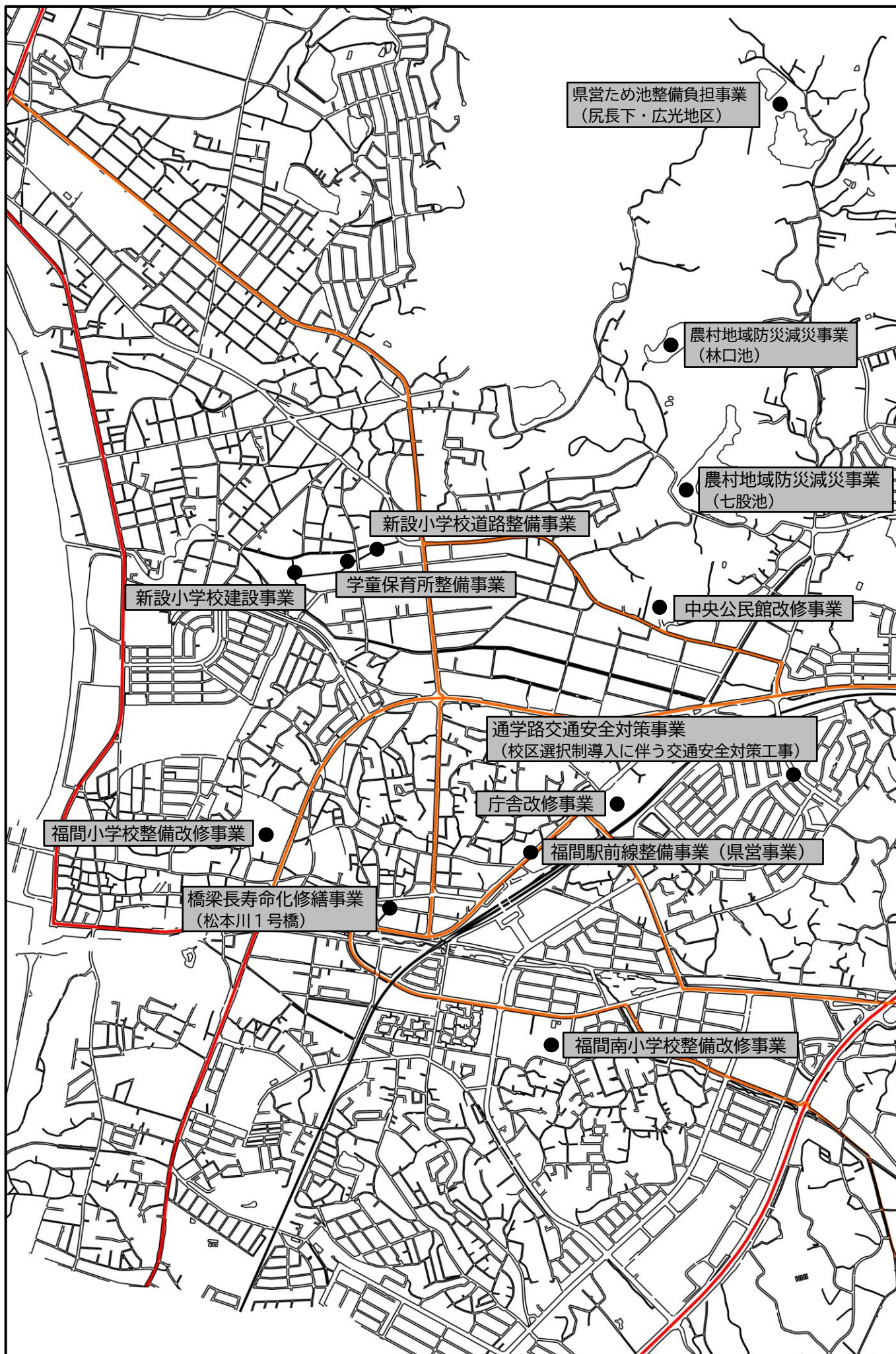
市民窓口改善事業						当初(骨格)	
大事業		戸籍住民基本台帳一般管理費		担当	市民生活部市民課市民係		
一般会計		(款)	2 総務費	(項)	3 戸籍住民基本台帳費	(目)	1 戸籍住民基本台帳費
基本 構想	テーマ別目標像	8. まちづくり計画推進にあたっての基本的な考え方					
	基本方針						
	分野別計画等						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源
31,201	32,439					20,482	11,957
(単位:千円)							
事業の内容(具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)							
平成30年度末から住民異動や諸証明発行等窓口業務の一部、平成31年度からは総合案内業務について民間委託を行っており、民間企業のノウハウを活用し、スムーズで満足度が高い窓口業務の実施に努めています。窓口業務の一部を委託することにより、職員は交付率が90%を超えたマイナンバーカード関連業務、また、相談業務や判断を必要とする事案に集中して対応することができます。 令和6年度において業者選定を行い、令和7年2月1日から令和10年1月31日までの新たな委託契約を締結し、引き続き市民サービスの向上を図ります。							
事業の達成度を測る指標							
指標①	利用者満足度	指標②		指標③			
目標値	4.8	目標値		目標値			
実績		実績		実績			
【事前】課題(現時点での課題)				【事前】成果(事業の実施により見込まれる成果)			
窓口業務を委託することで実践的な経験が少ない職員が増えることにより、委託業者との連携が不十分になることが考えられるため、職員の窓口業務のスキルや知識の向上を図ることが課題です。				窓口の混雑状況に応じ、弾力的に必要な人員を確保できること、また、定期的な人事異動がなく経験豊富なスタッフが対応することから、一定の質を保つことができるため、待ち時間の短縮や質の高い安定的な窓口サービスを提供することができます。また、委託業者と職員が情報共有し、連携することにより問題解決や事務の改善を随時行うことが成果として見込まれます。			
事業費の内訳 (単位:千円)							
科目等	内容	金額		科目等	内容	金額	
委託料	窓口業務委託料	32,439					

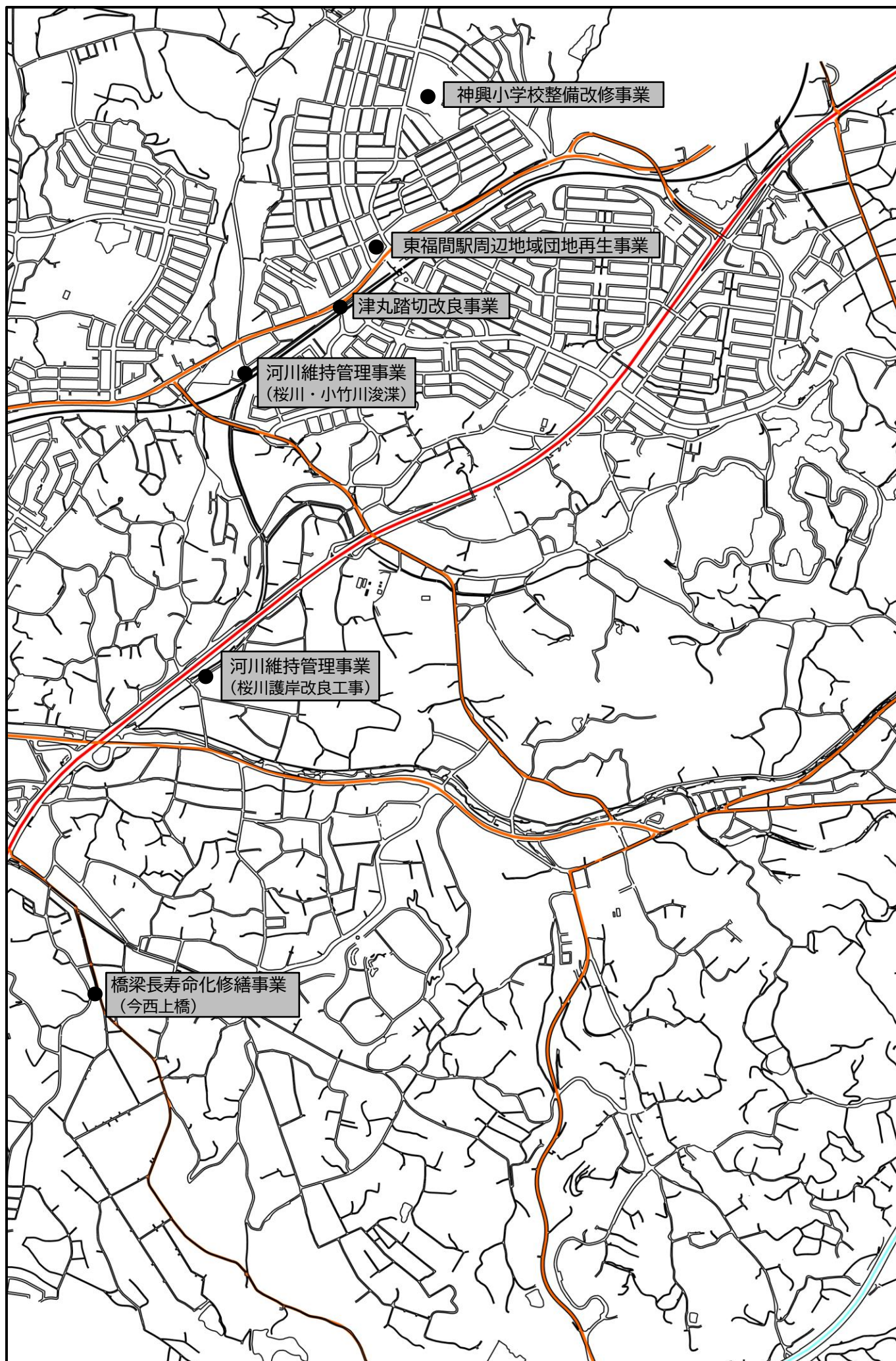
市営住宅改修事業						当初(骨格)		
大事業 市営住宅管理運営事業費			担当 総務部管財課管財係					
一般会計 (款) 8 土木費			(項) 5 住宅費		(目) 1 住宅管理費			
基本 構想	テーマ別目標像		8. まちづくり計画推進にあたっての基本的な考え方					
	基本方針							
	分野別計画等		福津市営住宅長寿命化計画					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他特定財源	一般財源 (単位:千円)	
	3,616	1,612				2,004		
事業の内容 (具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入)								
次期市営住宅長寿命化計画 (期間: 令和8年度～令和17年度) について、県や他市町村の取組状況の把握並びに次期計画の方針や手法、スケジュール等の検討を行い、策定業務委託を締結するとともに、市営住宅審議会の審議を経て、次期計画 (案) の取りまとめを行います。								
事業の達成度を測る指標								
指標①	次期市営住宅長寿命化計画の策定		指標②			指標③		
目標値	完了		目標値			目標値		
実績			実績			実績		
【事前】課題 (現時点での課題)				【事前】成果 (事業の実施により見込まれる成果)				
現行計画期間内に実施予定であった花見・星ヶ丘両団地の建替事業やその他の団地の改修等について、改めて実施年度やその手法を再検討する必要があります。				市営住宅の長寿命化に関する取り組みの方針が定まることにより、計画的に改修事業等に着手することができます。				
事業費の内訳 (単位:千円)								
科目等	内容	金額	科目等	内容	金額			
旅費	研修旅費	10						
役務費	通信運搬費	23						
委託料	長寿命化計画策定業務委託料	3,583						

道路・施設等位置図









基本構想7つのテーマ別事業費									
(一般会計)			単位:千円						
テーマ別目標像	基本方針	事業費	財源内訳						
			当初 (骨格)	6月補正 (肉付け)	国県 補助金	繰入金	市債	その他	一般財源
1 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち	1 子どもの権利を守り、多様な子どもの居場所や主体的な参加の機会を促進する	7,020,300	6,947,807	72,493	2,915,901	315,600	1,289,100	176,050	2,323,649
	2 子育て中の親を支援する環境を充実させる	3,163,773	3,138,777	24,996	2,331,427	0	0	34,703	797,643
	3 豊かな体験を育み、社会に開かれた教育を推進する	31,606	27,533	4,073	11,716	0	0	5,569	14,321
2 地域自治：人がつながり活躍する共助と共働のまち	1 郷づくりによる地域自治の推進を支援する	151,962	151,962	0	0	0	0	164	151,798
	2 郷づくりの担い手育成と幅広い市民参加を促進する	17,470	14,970	2,500	30	0	0	2,546	14,894
	3 さまざまな個人や団体間の共働を推進する	62,830	62,352	478	5,294	0	0	212	57,324
3 健康：健康で生き生きと暮らせるまち	1 日常の中での健康づくりの取り組みを推進する	2,426,203	2,424,093	2,110	448,991	0	0	137,990	1,839,222
	2 生涯学習や活躍の機会を通じた生きがいを増進する	816,434	783,181	33,253	2,867	53,800	520,000	10,821	228,946
	3 すべての人の自己決定や意思尊重を大切にするしくみを育てる	4,850,648	4,830,191	20,457	2,940,769	0	0	14,287	1,895,592
4 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち	1 災害に強いインフラ整備と地域防災力を強化する	931,961	897,375	34,586	10,254	5,700	20,100	10,337	885,570
	2 暮らしやすさを実感できる生活基盤を整備する	1,051,168	855,108	196,060	74,983	36,200	124,600	25,476	789,909
	3 社会資本の有効活用と改善の推進体制を整備する	8,495	8,495	0	172	0	0	0	8,323
5 環境保全：自然・歴史・景観などの資源が守られ生かされるまち	1 受け継がれてきた自然を守り、育てる	104,312	86,867	17,445	23,849	996	4,500	35,372	39,595
	2 福津の環境を受け継ぐ子孫のために、地球温暖化を緩和する	4,580	3,123	1,457	0	1,457	0	2,964	159
	3 快適な生活環境をつくる	1,155,744	1,154,834	910	1,184	0	0	192,933	961,627
	4 環境を守るための地域共働のしくみをつくる	358	358	0	0	0	0	13	345
6 地域産業：地域の産業が経済を支えるまち	1 農水産業分野の収益性を向上させ、担い手を育てる	311,588	111,648	199,940	149,252	5,800	45,900	20,762	89,874
	2 多様な産業が連携し、地産地消を促進する	22,399	15,949	6,450	0	0	5,800	10,842	5,757
	3 起業・継業促進と事業所誘致で、働く場を増やす	58,742	53,742	5,000	7,000	0	0	37,790	13,952
7 観光振興：福津の魅力を生かした持続可能な観光のまち	1 国内外の人が何度も訪れたくなる魅力を磨く	29,350	15,963	13,387	7,768	0	0	0	21,582
	2 観光拠点を整備し、観光消費額を拡大する	27,512	27,512	0	0	0	0	920	26,592
	3 ブランドの構築や管理、販売促進のための活動を強化する	690	690	0	0	0	0	0	690
8 まちづくり計画推進にあたっての基本的な考え方		7,984,042	7,941,749	42,293	654,596	86,959	7,100	787,865	6,447,522
合 計		30,232,167	29,554,279	677,888	9,586,053	506,512	2,017,100	1,507,616	16,614,886